

# 事業構想大学院大学 観光まちづくりプロデューサー 養成プログラム

---

文部科学省

成長分野における即戦力人材  
輩出に向けたリカレント教育推進事業

実施報告書2024年3月

 学校法人 先端教育機構  
事業構想大学院大学

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、事業構想大学院大学が実施した令和4年度補正予算「成長分野における即戦力人材育成に向けたリカレント教育推進事業」の成果をとりまとめたものです

## 実施したプログラム

本プログラムは、メインプログラムを実施し、  
好評につき、追加で12月ショートプログラムを実施しました。  
報告についても、それぞれのプログラムごとにまとめています。

観光まちづくりプロデューサー養成プログラム（メインプログラム）

観光まちづくりプロデューサー養成プログラム（12月ショートプログラム）

## 目 次

観光まちづくりプロデューサー養成プログラム(メインプログラム)……5

募集要項…

プログラムの記録

受講生アンケート

観光まちづくりプロデューサー養成プログラム(12月ショートプログラム) ……69

募集要項

プログラムの記録

受講生アンケート

参考資料……89

観光まちづくりプロデューサー養成プログラム  
メインプログラム  
募集要項

# 事業構想大学院大学 観光まちづくりプロデューサー 養成プログラム

## 事業構想力で持続可能な「観光まちづくり」を

今世紀以降、地域活性、地方創生に国をあげて取り組んでいるものの、十分に成果があがっていない大きな要因に「稼ぐ力」が十分でないことがあげられます。地域が持続的に発展するためには、しっかりと収益をあげ続けることが重要ですが、多様なステークホルダーが存在する地域においては、それらの利害関係者をつなぐプロデューサーの力量が極めて重要です。本プログラムは、持続可能な「稼ぐ観光まちづくり」を目指すプロデューサー人材を養成します。

### 本プログラムの主な受講対象者

- 観光、まちづくりに興味がある方
- 観光、まちづくりに関する事業構想に取り組みたい方
- 本学修士課程入学を検討している方
- 高等学校で「観光ビジネス」科目を担当(予定)の教員
- 自然体験活動指導者に興味がある方、業務やまちづくり活動で必要な方 など

## 2023年9月23日(土・祝)～11月26日(日)

日程

主な  
スケジュール

9/23(土)

開講式、講義(事業構想大学院大学 福岡校)

9/24(日)

フィールドワーク(福岡県八女市・福岡校よりバス)

10/8(日)～9(月・祝)

フィールドワーク(長崎県西海市／1泊2日)

10/2(月)～11/20(月)

講義(オンライン／毎週月曜／計7回／18:30～21:40)

11/23(木・祝)～11/26(日)

体験指導者講習合宿(沖縄)

応募締切

2023年9月10日(日)

詳しくは  
こちら



# 事業構想大学院大学 観光まちづくりプロデューサー養成プログラム

## カリキュラム概要

	月日	曜日	時間	形式	内容	場所
1	9月23日	土・祝	10:30-18:00	集中講義	開講式・オリエンテーション	福岡校 & オンライン
					観光まちづくりと事業構想	
					デスティネーション経営論の最先端	
					観光まちづくりの実践	
2	9月24日	日	終日	フィールドワーク	八女市フィールドワーク(福岡から貸切バス)	八女市(日帰り)
3	10月2日	月	18:30-21:40	講義	観光まちづくりとは	オンライン
4	10月8日	日	終日	フィールドワーク	西海市フィールドワーク(福岡から貸切バス)	西海市(宿泊)
5	10月9日	月・祝				
6	10月16日	月	18:30-21:40	講義	西海市の事例から考える	オンライン
7	10月23日	月	18:30-20:00		信州の観光まちづくり	
			20:10-21:40		長崎の観光まちづくり	
			18:30-21:40		離島の観光まちづくり	
8	10月30日	月	18:30-21:40		少子高齢化地域の観光まちづくり	
9	11月6日	月	18:30-21:40		観光まちづくりの発着想	
10	11月13日	月	18:30-21:40	観光まちづくりの構想案		
12	11月23日	木・祝	終日	沖縄合宿	体験指導者講習合宿	沖縄(宿泊)
13	11月24日	金				
14	11月25日	土・祝				
15	11月26日	日				

**受講料 10万円(消費税込)** ※文部科学省の助成による

受講料には、フィールドワーク(八女日帰りの昼食、西海市(1泊2日)の宿泊費、沖縄合宿での宿泊費(3泊4日分、食事つき)、体験活動指導者認定制度による「体験活動指導者(NEALリーダー)」への認定登録料、テキスト代、救急蘇生法認定登録料、同テキスト代、保険料を含みます。集合場所までの交通費は含みません。飲物代等、現地で個人的経費を徴収する場合があります。  
※通常、体験活動指導者研修への受講のみで約20万円程度かかります。

ホームページは  
こちら



説明会は  
こちら



**応募締切 2023年9月10日(日)**

お問合せ先

事業構想大学院大学 リカレント教育事務局

〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル4階(JR,地下鉄「博多駅」博多口直結)

TEL:092-419-8411 Email:recurrent@mpd.ac.jp

事業構想大学院大学修士課程 単位認定対象講座  
独立行政法人国立青少年教育振興機構 自然体験活動指導者（NEALリーダー）資格取得

# 事業構想大学院大学 観光まちづくりプロデューサー養成プログラム

## 募集要項

### 開講期間

2023年9月23日（土）～11月26日（日）

### 会場&フィールドリサーチ先

事業構想大学院大学 福岡校  
福岡県八女市  
長崎県西海市  
沖縄県  
（一部、オンライン併用）

### 応募締切

第1次：2023年8月18日（金）  
第2次：2023年9月 1日（金）  
第3次：2023年9月 8日（金）



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

# [ 1 ] 開講趣旨

## 事業構想力で持続可能な「観光まちづくり構想」を

わが国では数十年にわたって全国各地で地域活性、地方創生に取り組んでいるものの、期待以上の成果があげられていない地域が多いのが現状です。その要因のひとつに「構想力」が不足していることがあげられます。加えて地域が持続的に発展するためには、「稼ぐ仕組み」をつくることも重要です。なかでも、多様なステークホルダーが存在する地域においては、それらの人びとをつなぐプロデューサー人材の力量がきわめて重要です。

事業構想大学院大学では、2012年の開学以来、社会人を対象に事業構想人材を育成し、600名近い事業構想人材（事業構想修士）を輩出してきました。修了生がとりくむ事業構想のテーマのうち3～4割は、広義の観光、まちづくり構想に関連するものです。

本プログラムは、文部科学省の助成を得て、事業協働機関のNPO法人自然体験学校、大学間包括連携協定校である信州大学、観光まちづくり研究で実績のある小樽商科大学の協力のもとに開講します。特に、NPO法人自然体験学校は、長年にわたって沖縄、北海道をはじめ全国各地で「稼げる観光まちづくり」を実践してきた実績を有しています。

本プログラムは、事業構想大学院大学修士課程の単位認定プログラムとなっています。所定の要件を満たした方は、修士課程の単位（3単位）が付与され、修士課程に進学された際には、単位に算入することができます。本プログラムで、観光まちづくりプロデューサーとしての基礎を身につけ、さらに本格的に事業構想による観光まちづくりに取り組みたい方には、修士課程に進学する道を用意しています。

高い志と意欲をお持ちの方のご参加を心よりお待ちしております。



## [2] 本プログラムの位置づけ

### 「事業構想」×「観光まちづくり」＝「観光まちづくりプロデューサー」

事業構想大学院大学では、2024年度より、豊富なフィールドを有し、院生の多くが地域活性に関連する事業構想に取り組んでいる福岡校に「観光まちづくり」に特化した科目を開講します。いま、観光まちづくりプロデューサーとして求められているのは、「事業構想」と「観光まちづくり」を融合した構想力と実践力です。本プログラムの受講と修士課程の修了で、「観光まちづくりプロデューサー」人財として活躍することが可能となります。

2023年度

単位認定

2024～  
2025年度  
(2年間)

事業構想大学院大学修士課程

2024年4月入学（2年間・修士課程）

事業構想

発着想  
構想案  
フィールドリサーチ  
構想計画  
コミュニケーション

演習  
事業構想計画書



まちづくり

地域活性  
観光まちづくり  
集客  
マーケティング  
ブランディング

ワークショップ  
フィールドワーク

学位認定

事業構想修士（MPD）

+  
観光まちづくりプロデューサー

## [3] 開講概要

### 開講期間

2023年9月23日（土・祝）～11月26日（日）全15回（約70時間）

### 会場

事業構想大学院大学 福岡校（JR,地下鉄「博多駅」直結）  
福岡県八女市（フィールドワーク/日帰り/福岡より貸切バス）  
長崎県西海市（フィールドワーク/1泊2日/福岡市より貸切バス）  
沖縄県（合宿/3泊4日/沖縄現地集合・解散）  
上記以外はオンラインで開講

### 主な受講対象 **経験よりも意欲優先**

- 観光、まちづくりに興味・関心がある方
- 観光、まちづくりに関する事業構想に取り組みたい方
- 本学修士課程入学を検討している方
- 高等学校で「観光ビジネス」科目を担当（予定）の教員
- 体験活動指導者資格がまちづくり活動などで必要な方
- 自治体、観光協会、観光コンベンションビューロー、まちづくり会社等の職員
- 観光業、旅行業、宿泊施設、MICE、運輸業などに携わっている方
- 都市開発、デベロッパー、建築などに携わっている方
- 地域おこし協力隊の方
- 地域プロジェクトマネージャーの方、目指す方
- 将来、地域への移住、二拠点生活等を通じて地域にかかわりを持ちたい方
- これまでのキャリアを地域で生かしたい方

など

### 応募資格

- ・社会人の方であれば、学歴、職歴、年齢等の資格はありません。
- ・居住地にかかわらず全国から参加可能です。

### 受講料

10万円（消費税込）※**文部科学省の助成による**

受講料には、フィールドワーク（八女日帰りの昼食、西海市（1泊2日）の宿泊費・食費、貸切バス代、沖縄合宿での宿泊費・食費（3泊4日分）、体験活動指導者認定制度による「体験活動指導者（NEALリーダー）」への認定登録料、テキスト代、救急蘇生法認定登録料、同テキスト代、団体旅行保険料を含みます。集合場所（福岡、沖縄）までの交通費は含みません。飲物代等、現地で個人的経費を徴収する場合があります。※通常、体験活動指導者研修への受講のみで約20万円程度かかります。

**募集人数** 15名（最大28名）

### 単位認定、取得できる資格等

事業構想大学院大学修士課程単位認定（3単位）

独立行政法人 国立青少年教育振興機構自然体験活動指導者（NEALリーダー）資格取得  
L.S.F.A.（Life Supporting First Aid）救急蘇生法講習修了認定証

## [4] カリキュラム概要

日程：2023年9月23日（土・祝）～11月26日（日）15日間（60時間）

会場：事業構想大学院大学福岡校、沖縄、福岡県八女市、長崎県西海市

	月日	曜日	時間	形式		担当教員	場所
1	9月23日	土・祝	10:30-18:00	集中講義	開講式・オリエンテーション	井手隆司	福岡校 & オンライン
					観光まちづくりと事業構想	若林宗男	
					デスティネーション経営論の最先端	内田純一 (小樽商科大学)	
					観光まちづくりの実践	若林伸一 (NPO法人自然体験学校)	
2	9月24日	日	終日	フィールドワーク	八女市フィールドワーク (福岡から貸切バス)	若林宗男 & 若林伸一	八女市 (日帰り)
3	10月2日	月	18:30-21:40	講義	観光まちづくりとは	若林伸一	オンライン
4	10月8日	日	終日	フィールドワーク	西海市フィールドワーク (福岡から貸切バス)	若林伸一 & 若林宗男	西海市 (宿泊)
5	10月9日	月・祝					
6	10月16日	月	18:30-21:40	講義	西海市の事例から考える	若林伸一	オンライン
7	10月23日	月	18:30-20:00		地域でキャリアを生かす ～信州の事例より	藤尾宗太郎 (信州大学)	
			20:10-21:40		長崎の観光まちづくり	長尾和弘 (十八親和銀行)	
8	10月30日	月	18:30-21:40		離島の観光まちづくり	若林伸一	
9	11月6日	月	18:30-21:40		少子高齢化地域の観光まちづくり	若林伸一	
10	11月13日	月	18:30-21:40		観光まちづくりの発着想	若林伸一	
11	11月20日	月	18:30-21:40		観光まちづくりの構想案	若林伸一	
12	11月23日	木・祝	終日	沖縄合宿	体験指導者講習合宿	NPO法人 自然体験学校 各講師	沖縄 (宿泊)
13	11月24日	金					
14	11月25日	土・祝					
15	11月26日	日					

## [5] フィールドワーク（福岡県八女市）



写真：八女市ホームページより

## [5] フィールドワーク (福岡県八女市)

### NIPPONIA HOTEL 八女福島商家町」



伝統的な建物の美しさと現代的な快適性のある客室

八女の発展を支えてきた「旧大坪茶舗」、丁寧に醸したお酒で町の人を喜ばせてきた「福島酒造」など、歴史のある建物。伝統的な佇まいや意匠はそのままに、最小限のリノベーションで現代的な快適さをプラスしました。まちに点在する客室は1棟に最大4室のみ。入口もそれぞれに離れており、分散型ホテルならではのプライベートな空間をお楽しみいただけます。

(NIPPONIA HOTEL 八女福島商家町ホテル ホームページより)

### フィールドワークスケジュール (予定)

9月24日 (日)

08:50 博多駅筑紫口集合

09:00 バス出発

10:30 八女着

11:00 八女中央大茶園を視察

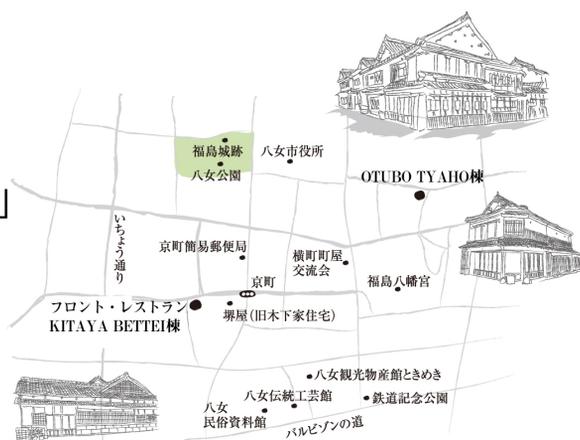
12:00 八女市福島地区で昼食「酒邸 吟乃香」

13:00 八女市福島地区の白壁の町並みを  
視察 NIPPONIA HOTEL、横町町家  
交流館、堺屋、うなぎの寝床などを見学

15:00 八女商工会議所会議室で講義

16:30 八女からバスで博多へ

18:00 博多駅筑紫口で解散



※スケジュールは全体のイメージで変更の可能性があります。

## [6] フィールドワーク（長崎県西海市）

長崎県西海市（さいかいし）は平成の大合併で5つの自治体が合併してできた、人口2.5万人のまち。1泊2日で訪問し、観光まちづくりの課題やアイデアを考えます。



西海市について・・・

県内の2大都市である長崎市と佐世保市の中に位置し、リアス式海岸などの複雑な地形を持った海岸線や、点在する大小さまざまな島、丘陵起伏が続く地形といった美しく優れた自然景観を有しており、西海国立公園、大村湾県立公園、西彼杵半島県立公園の3つの自然公園に指定されている。（西海市ホームページより）

## [6] フィールドワーク（長崎県西海市）

---

### 月8日（日）

博多駅筑紫口集合

バス出発（貸切バス）

福岡空港国際線ターミナル

バス出発（社内でフィールドワークのねらいとオリエンテーション）

西海市着

宿泊（ジスコホテル西海へ宿泊予定。宿泊費および食費は受講料に含まれます）

### 月9日（月・祝）

予定ですので、変更になる場合があります。



## [7] 体験指導者講習合宿（沖縄）

### 自走化できる「体験型旅行」の事業モデルを実体験する

沖縄での合宿研修では、沖縄で体験型修学旅行のうち10%のシェアを持つ、NPO法人自然体験学校による「体験活動指導者講習」を受講します。同理事長の若林伸一氏は、日本ではじめて「自然体験の事業化」に成功した、草分け的存在でもあります。ボランティアや補助金依存型の自然体験は国内でたくさん行われていますが、自立化、自走化しているのは極めて稀なことです。

そこにこそ、「観光まちづくり」「地域活性化」のヒントが隠されています。

現状は、若林伸一氏秘伝の「属人的ノウハウ」となっていますが、その一部を若林氏は2023年3月に「事業構想計画書」としてまとめあげています。本プログラムの受講者には、合宿の受講を通じて、体験型旅行のビジネスモデルや地域の巻き込み方について学ぶことを期待します。合宿中に、グループで体験メニューを考えて、最終日に発表していただきます。

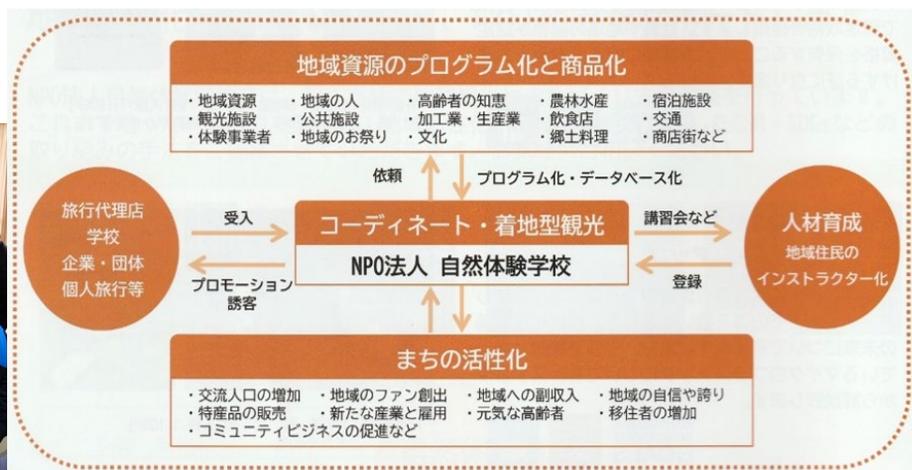
### 取得できる資格

本プログラムの主目的は資格取得ではありませんが、受講を通じて下記の資格が取得できます。

独立行政法人 国立青少年教育振興機構自然体験活動指導者（NEALリーダー）資格  
L.S.F.A.（Life Supporting First Aid）救急蘇生法講習修了認定証

### 体験活動指導者とは？

体験活動には、キャンプ、登山、ハイキング、カヤック、自然観察、農林漁業体験など、多様なフィールドで様々な活動があります。自然の中で感性を磨いたり、土地の伝統文化や食文化に触れたり、専門的な知識と技術をもって体験活動の普及や振興に貢献するのが「体験活動指導者」です。体験活動指導者として、様々なフィールドで自然の素晴らしさを伝えることができるとともに、全国の指導者が集う研修会や交流会に参加でき、活動団体や専門分野を超えたネットワークづくりや情報交換が可能です。（独立行政法人国立青少年教育振興機構 ホームページより）



## [7] 体験指導者講習合宿（沖縄）

日目：11月23日（木・祝）

時間	内容
12:45	各自沖縄へ。会場受付（那覇市内のホテルを予定）
13:00	オリエンテーション アクティビティ/環境教育
14:30	講義グループワーク
18:30	講義終了（夕食後グループワーク）

2日目：11月24日（金）

時間	内容
9:00	救急蘇生法
12:00	昼食
13:00	救急蘇生法
16:00	講義「体験活動の安全対策について」他
17:00	グループワーク
18:30	講義終了（夕食後グループワーク）

3日目：11月25日（土）

時間	内容
9:00	講義「防災について」「救急蘇生法（応急手当）について」「保険について」「低体温症と熱中症」「指導者のための関連法令について」他
12:00	昼食
13:00	講義「青少年教育における体験活動」
15:00	グループワーク
18:30	講義終了（夕食後グループワーク）

4日目：11月26日（日）

時間	内容
9:00	プレゼンテーション グループでの実技
15:30	講評、他
16:00	閉講式
16:30	解散

※全体のイメージですので、一部変更する場合があります。

※宿泊および研修会場（予定）：ホテルオロックス

（沖縄県那覇市小禄1-1-1）

※3泊分の宿泊費、プログラム中の食事代は受講料に含まれます。

（相部屋の場合、1人部屋を希望の場合、追加料金で空きがある場合のみ可能です）



## [ 8 ] 本学が育成する人材と本プログラムの対象

本学が育成する人材は主に下記の通りです。（アドミッション・ポリシーより）  
今回のプログラムでは特に「地域活性を志す人」を対象としています。もちろん複数の分野にまたがる方も歓迎です。

### 本学が育成する人材

新規事業担当者や携わりたい人

起業を目指す人

事業承継予定者

地域活性を志す人

企業の永続的発展を構想する経営者

地域活性を志す人

を対象としています。

## [9] 事業構想とは？



### 事業構想は、スキルではなく、クリエイティブ。

スキルとは、一定の手順を踏めば一定の成果がでるものです。新たな事業をあるメソッドで実行すれば、必ず成功するというものでは決してありません。ある程度確率を高めることはできますが、それよりもアイデアが重要です。

本学は、授業を受ければ、何かできるようになるであろう、昇進や転職に有利になるであろう、という受け身の動機の方には向いていません。単に受け身で授業を聞いているのではなく、常に能動的、積極的にものごとを吸収して、アイデアを考えていく姿勢でなければ、事業構想は実現できません。

本気になれる、つまり、何かやってみたい、それが漠然としていても結構です。事業構想には、自分がやらなければいけないという使命感が重要です。



### 井手 隆司

教授

スカイマークエアラインズ元社長、会長

1976年西南学院大学文学部外国語学科英語専攻卒業し、キャセイパシフィック航空に入社、1989年9月ブリティッシュ・エアウェイズ社入社。1998年6月同社日本地区営業部長に就任。同年12月スカイマークエアラインズ代表取締役社長に就任。2003年1月同社取締役副会長、2009年5月取締役会長、翌年6月代表取締役会長に就任し、生産部門管掌・安全統括管理を担当。2015年12月エアアジアジャパン代表取締役会長に就任。2017年同社執行役会長を経て現職。同社において、就航の道筋をつける。一貫して航空業界で事業戦略、マーケティングに携わる。



国際基督教大学教養学部を卒業。株式会社東京12チャンネル（現テレビ東京）に入社。ニューヨーク支社を開設し支社長兼特派員。ワールドビジネスサテライトを企画、初代ニュースキャスターを担当。インターネット黎明期の1995年にテレビ東京のホームページを開設。2011年、福岡市に移住。地域社会と中小企業をサポートする若林ビジネスサポートを設立。八女市商工会議所に古民家ホテル開業を提案。2020年NIPPONIA HOTEL八女福島商家町が八女市福島地区に開業。



### 若林 伸一

NPO法人自然体験学校理事長 事業構想修士（MPD）

東京都出身。大学在学中に全国を旅行し、起業を決意。1年間の肉体労働で貯めた資金で北海道池田町の原野に建つ空き家を購入。1人でリニューアル工事をして、自然体験ができる民泊施設をオープンさせて人気に。以来、全国各地に住み込んで、観光まちづくり、集客の仕掛けづくり、空・水・フィールド・環境の自然体験を指導。沖縄南部の観光まちづくりに携わるうちに請われて本社を北海道から沖縄に移転。北海道と沖縄の二拠点生活を送る。コロナ前までは、沖縄で年間4万人以上の修学旅行の受入れをし、沖縄での修学旅行受け入れの10%を担う。日本各地で自然体験活動指導者や認定救急蘇生法の人材育成をしつつ、事業構想大学院大学福岡校に通い、2023年修了（事業構想修士）。観光庁観光地域プロデューサー、内閣府特定有人国境離島地域プロジェクト推進アドバイザー、総務省地域カアドバイザーなど。



### 内田 純一

小樽商科大学大学院商学研究科教授

北海道大学大学院経済学研究科現代経済経営専攻修士課程修了、北海道大学博士（国際広報メディア）論文博士。AFLAC日本社勤務、観光学高等研究センター准教授等を経て、2017年より現職。専門は、サービスマネジメント、観光経営、地域ブランド、プレイス・ブランディング、産学官連携、産業集積など。2016年12月 日本ベンチャー学会 第9回レフェリー賞。「観光まちづくりのマーケティング」（共著）「観光情報学入門」（共著）「地域イノベーション戦略—ブランディング・アプローチ」など著書、論文、TV出演等多数。



### 藤尾 宗太郎

信州大学 特任助教 産学官連携推進本部  
ユニバーシティ・エンゲージメント室 副室長

福岡県出身。2006年エプソン販売株式会社へ入社。首都圏で法人営業に従事。2012年に働きながら社会人大学院へ通い、2014年にMBAを修得(中央大学大学院戦略経営研究科マーケティング専攻)。2015年から親会社であるセイコーエプソンへ出向し国内外の販売管理・製品企画に従事。2018年に同社を退社し国立大学法人信州大学が主導する「信州100年企業創出プログラム」へ参加。ミッションである「株式会社タカノにおける新規事業創出(金属3Dプリンター)」を実現し新規部署を設立、責任者を務める。信州大学産学連携本部、ユニバーシティ・エンゲージメント室で地域活性・キャリア教育に携わる。



### 長尾和弘

十八親和銀行 地域振興部長  
iBankマーケティング マーケティング事業部  
マネージングディレクター

PPS設立支援・観光コンテンツ企画支援・学生ビジコンを立ち上げ。iBank地域共創部を兼務し、地域共創型オンラインスト『エンニチ』の長崎プロデューサーを務める。2022年事業構想大学院大学修士課程福岡校入学（現在2年次）

## [ 1 1 ] アドバイザーボード

本講座は、担当講師に加えて、観光まちづくりに携わる有識者および本学修了生（卒業生）もアドバイザーボード（事業構想大学院大学リカレント教育推進委員会委員）として、プログラムに参画しています。事業構想大学院大学では、様々なバックボーンをもった方とつながりを持ち、交流ができることも魅力のひとつです（敬称略・順不同。一部予定を含む）



### 高良剛寿

高良剛寿 株式会社茶花の里代表取締役。事業構想修士（MPD）  
福岡県久留米市で、造園設計・施工業と直売所とサツマイモ専門店imoyaみ乃う茶房を運営。雑木と山野草の季節感あふれる庭を数多く手掛ける。人と自然が共生する「みのうの森農園リゾート」を構想



### 吉野秋彦

タケマン代表取締役会長。事業構想修士（MPD）  
福岡県糸島市で国産メンマを製造販売。メンマの材料として地元・糸島の竹林を使用することにより、放置竹林問題を解決し、安全安心な国産メンマを全国の有名ラーメン店に供給。マツコ・デラックスのテレビ番組にもメンマの専門家として出演。



MPD)



### 安田憲保

安泰企画・安泰商事役社長 事業構想修士（MPD）  
鹿児島県生まれ。東京で企業勤務後、Uターンし事業承継。日本の食の価値を世界に広げる海外拠点のポップアップキッチン「WHITE CANVAS」構想をソウルで開設準備中。「赤塚学園専門学校グローバルビジネス科非常勤講師兼務。



### 倉橋篤

熊本郷土料理「青柳」代表取締役社長 事業構想修士（MPD）  
北海道生まれ。大手建設会社勤務を経て、妻の実家で熊本で70年以上の歴史がある「青柳」を事業承継。熊本震災での店舗全壊、コロナを乗り越えて黒字繁盛店へ。日本でいちばん大切にしたい会社大賞受賞。「旬結」技術を応用した事業構想で外食産業の働き方改革にも寄与。



### 伊藤雄大

株式会社JTB佐賀支店 グループリーダー 事業構想修士（MPD）  
学生時代から旅行好きでJTBに就職。旅行が団体旅行から個人旅行にシフトするなかで、いかにすれば、旅を通して、より特別な体験や知的探求心を満たすことができるかを構想。

## [12] 応募方法・応募締切

### 応募資格

- ・ 社会人の方であれば、学歴、職歴、年齢等の資格はありません。
- ・ 居住地にかかわらず全国から参加可能です。

### 応募手順

下記、STEP①とSTEP②を各回の応募期限までに行ってください。

#### STEP①

#### エントリーフォーム提出

下記エントリーフォームに必要事項を入力して登録してください。

エントリーフォーム <https://forms.office.com/r/RTHi0SfHQQ>



#### STEP②

#### 写真の提出

スマートフォンで撮影したもので結構ですので、添付ファイルにてお送りください。

- ・ ファイル名にご自身の氏名を明記してください。
- ・ 送付先メールアドレス recurrent@mpd.ac.jp

### 応募締切

第1次：2023年8月18日（金）

第2次：2023年9月 1日（金）

第3次：2023年9月 8日（金）

応募完了された方には、順次、審査の上、審査結果をメールでお知らせします。合格された方には受講料納入のご案内メールをお送りします。9月15日（金）までに振込またはカード決済（Peypal）で納入いただきます。納入完了の確認をもって、手続完了となります。

#### 振込先

三菱UFJ銀行 青山支店 普通預金 0130323  
学校法人先端教育機構 ガク) センタンキョウイクキコウ

#### クレジットカード決済（Peypal）

※ホームページにリンクを掲載しています。

### 受講料に関する注意事項

受講申し込み後にやむを得ない事情によりキャンセルされる場合は、9月20日（水）18時までにご連絡ください。それ以降は納入された受講料は返金できません。フィールドワーク・合宿の一部または全部に参加できない場合も、受講料は返金できません。

## [13] 説明会

---

本プログラムの目的やカリキュラム内容などを、オンラインで説明します。  
また、その場で質問することもできます。お気軽にご参加ください。

### オンライン説明会

第1回：2023年7月27日（木）18:00～18:30

第2回：2023年8月 3日（木）18:00～18:30

第3回：2023年8月10日（木）18:00～18:30

第4回：2023年8月24日（木）18:00～18:30

※上記以外にも開催する場合があります。くわしくは本学ホームページをご覧ください。

※説明会参加は、応募要件ではありません。参加しなくても応募できます。

### 説明会詳細

<https://www.mpd.ac.jp/events/tourismdevelopment2023/>



## [14] よくある質問 (FAQ)

Q. 観光やまちづくりに興味はありますが、これまで全く知識や経験がありませんが大丈夫でしょうか？

A. 全く問題ありません。

Q. 本プログラムを受講すると、大学院の入試で優遇されるのでしょうか？

A. 入学選考は、全受験者に対して同一条件で実施しますので、特別有利になることはありません。ただし、志望書や面接で本プログラムの受講やそこで得られたことについてアピールしていただくと結構です。

Q. 修士課程の単位認定とはどのようなもののでしょうか？

A. 本プログラムを修了した方には、本学修士課程の3単位分の単位を付与します。認定された単位は修了証書に記載され証明されます。本学所定の入学選考を経て入学された場合、修了所要単位（34単位以上）の一部として算入されます。

Q. 本プログラムを受講すると必ず大学院に進学する義務がありますか。

A. そのようなことはありません。

Q. 東京在住ですが、応募できますか？

A. 居住地に関係なく応募、受講できます。

Q. すべてオンラインで受講できますか？

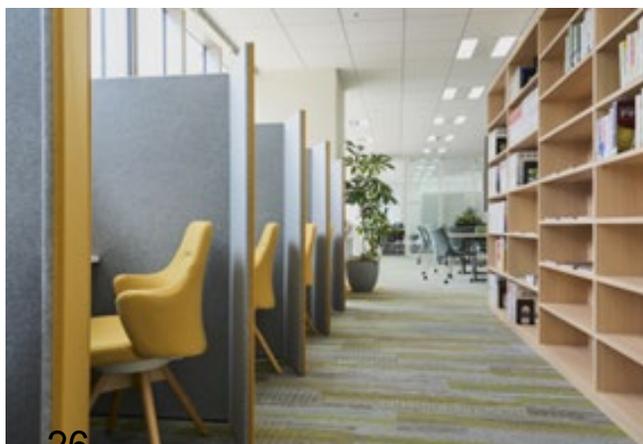
A. オンラインで受講できる回は、カリキュラム概要（P5）に「オンライン」と書いてある回です。フィールドワーク、合宿につきましては現地のみです。

Q. 欠席した場合は動画視聴できますか？

A. オンラインで実施した回につきましては、後日動画でフォローできます。

Q. 仕事の都合でフィールドワーク、合宿の一部に参加できなくなりました。

A. やむを得ず欠席の場合は早めにご連絡ください。その場合でも、受講料の一部または全部の返金はできませんのであらかじめご了承ください。



# [ 1 5 ] 大学院概要

---

1分

JR大阪駅直結

JR仙台駅直結

2012年4月



---

2年間で学位が取得できます。

MPD)

3日程度)

120名（5校舎計）の少人数制

10月、12月、1月、2月  
10万円、授業料年額160万円

---

112万円  
300万円（9割助成）

## [ 1 6 ] 大学院への進学（本プログラム修了後）

入試回	出願締切日	書類提出・出願料納付期限	一次選考合否発表	二次選考期間	二次選考合否発表	入学手続期限
10月	10/2(月)	10/4(水)	10/6(金)	10/12(木)～ 10/15(日)	10/20(金)	11/1(水)
12月	12/4(月)	12/6(水)	12/8(金)	12/14(木)～ 12/17(日)	12/22(金)	1/5(金)
1月	1/15(月)	1/17(水)	1/19(金)	1/25(木)～ 1/28(日)	2/2(金)	2/14(水)
2月	2/13(火)	2/15(木)	2/16(金)	2/22(木)～ 2/25(日)	3/1(金)	3/13(水)

112万円

300万円（9割助成）



※本募集要項記載内容は一部変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報はホームページ、説明会等でご案内します。

お問合せ先

事業構想大学院大学 リカレント教育事務局

〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-1  
JRJP博多ビル4階（JR,地下鉄「博多駅」博多口直結）  
TEL : 092-419-8411 Email : recurrent@mpd.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

本学が取得した個人情報は、問い合わせ対応、応募、選考、プログラム運営のために必要な範囲で、事務局および担当教員が適切に管理、運用します。また、大学のイベント、行事等の案内の送付等にも使用いたします。

観光まちづくりプロデューサー養成プログラム  
メインプログラム  
プログラムの記録

1. 応募者の属性

<b>■性別</b>		<b>■地域</b>	
男	13	北海道	1
女	20	埼玉	3
計	33	東京	9
		神奈川	1
<b>■年代</b>		千葉	2
20代	3	大阪	1
30代	12	兵庫	2
40代	8	福岡	8
50代	7	熊本	2
60代	3	大分	1
		鹿児島	2
平均年齢	42.9	沖縄	1
		計	33
		<b>■入学意欲</b>	
		入学したい	2
		入学に関心がある	17
		どちらともいえない	12
		在学生・修了生	2
		計	33

## 開講式

開講式・オリエンテーション・初回講義

日時:9月23日(土・祝) 10:30~12:00

会場:事業構想大学院大学 福岡校+オンライン

10:30~12:00 開講式・オリエンテーション

- ・開講挨拶 井手隆司教授 (海外出張のため動画出演)
- ・担当教員自己紹介
- ・受講生自己紹介
- ・アドバイザーボード紹介
- ・ガイダンス (事務局)

13:00~14:30

「観光まちづくりと事業構想」

若林宗男

14:40~16:10 「DESTINATION経営論の最先端」

内田純一 (小樽商科大学)

16:20~17:50 「観光まちづくりの実践」

若林伸一 (NPO 法人自然体験学校)

17:50~18:00 事務局より



若林宗男氏による講義



グループディスカッションの様子

## フィールドワーク

9月24日（日）

08:50 博多駅筑紫口 バスロータリー集合

09:00 博多駅筑紫口バス出発

09:20 福岡空港立ち寄り

09:30 福岡空港国内線ターミナル・観光バス駐車場出発

11:00 八女中央大茶園を視察

12:00 酒邸 吟乃香視察（昼食）

八女市福島地区の白壁の町並みを視察

NIPPONIA HOTEL、横町町家

交流館、堺屋、うなぎの寝床などを見学

15:00 八女商工会議所会議室で講義、ディスカッション

16:30 八女からバスで博多へ

18:00 福岡空港立ち寄り

18:30 博多駅到着解散



八女中央大茶園を視察



八女市福島地区の白壁の町並み



交流館、堺屋、うなぎの寝床などを見学



八女商工会議所会議室で講義

## 西海市フィールドワーク

10月8日（日）

09:50 博多駅筑紫口集合

10:00 バス出発（貸切バス）

10:20 福岡空港

09:50 博多駅筑紫口 バスロータリー集合

10:00 博多駅筑紫口バス出発

10:20 福岡空港立ち寄り

10:30 福岡空港国内線ターミナル・観光バス駐車場出発

12:00 西海橋物産館・魚魚レストランで昼食

西海市フィールドワーク（12時30～18時30分）

① 12:30 ～ 12:45（15分） 西海橋

② 13:25 ～ 13:55（30分） 大瀬戸歴史民俗資料館

- ③ 14:35 ～ 14:55 (20分) 石原岳森林公園 (戦跡)
- ② 15:05 ～ 15:30 (25分) 横瀬浦公園
- ④ 15:40 ～ 16:00 (20分) 道の駅みかんだーム/トイレ休憩
- ⑤ 16:10 ～ 16:20 (10分) 大島大橋公園
- ⑥ 16:30 ～ 16:50 (20分) 若人の森
- ⑦ 17:05 ～ 17:20 (15分) 崎戸さんさん元気らんど
- ⑧ 17:30 ～ 18:10 (40分) 北緯 33 度線展望台 (戦跡)
- ⑨ 18:50 ジスコホテル着

10月9日 (月・祝)

午前中 グループ発表の準備

(ジスコ自須古ホテル)

13:00 西海市への観光まちづくり提案 (グループ発表)

会場「大瀬戸コミュニティセンター3階大会議室」

15:00 出発

18:00 福岡空港立ち寄り

18:30 博多駅到着解散



西海橋



大瀬戸歴史民俗資料館



石原岳森林公園（戦跡）



崎戸さんさん元気らんど



グループディスカッションの様子



副市長による講評

## 体験指導者講習合宿（沖縄）

1日目:11月23日（木・祝）

12:45 各自沖縄へ。会場受付（那覇市内のホテルを予定）

13:00 オリエンテーション アクティビティ／環境教育

14:30 講義グループワーク

18:30 講義終了（夕食後グループワーク）

2日目:11月24日（金）

9:00 救急蘇生法  
12:00 昼食  
13:00 救急蘇生法  
16:00 講義「体験活動の安全対策について」他  
17:00 グループワーク  
18:30 講義終了（夕食後グループワーク）

3日目:11月25日（土）

9:00 講義「防災について」「救急蘇生法（応急手当）について」「保険について」  
「低体温症と熱中症」「指導者のための関連法令について」他  
12:00 昼食  
13:00 講義「青少年教育における体験活動」  
15:00 グループワーク  
18:30 講義終了（夕食後グループワーク）

4日目:11月26日（日）

9:00 プレゼンテーション グループでの実技  
15:30 講評、他  
16:00 閉講式  
16:30 解散



オリエンテーションの様子



グループディスカッションの様子



発表の様子



発表の様子



救急蘇生法の講義



若林伸一氏による講義

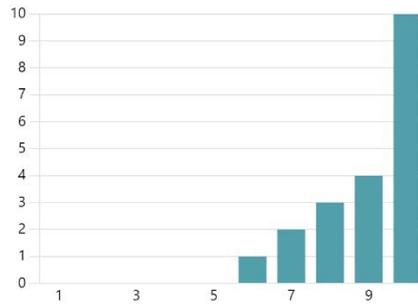
観光まちづくりプロデューサー養成プログラム  
メインプログラム  
受講生アンケート

## 本プログラムのアンケート結果

### 2. 9/23(土・祝) 集中講義 (若林宗男) (0 点数)

[詳細](#) [👁️ インサイト](#)

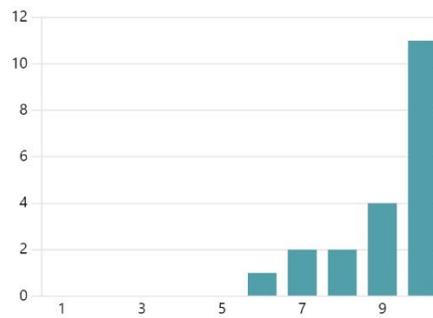
9.00  
平均評価



### 3. 9/23(土・祝) 集中講義 (若林伸一) (0 点数)

[詳細](#) [👁️ インサイト](#)

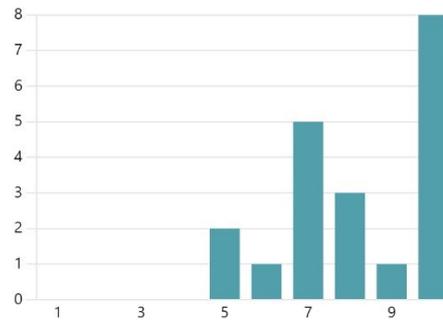
9.10  
平均評価



4. 9/23(土・祝) 集中講義 (小樽商科大学・内田純一) (0 点数)

詳細 [👁️ インサイト](#)

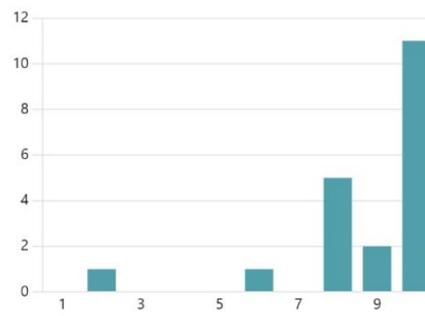
8.20  
平均評価



7. 10/8~9 西海市フィールドワーク (0 点数)

詳細 [👁️ インサイト](#)

8.80  
平均評価

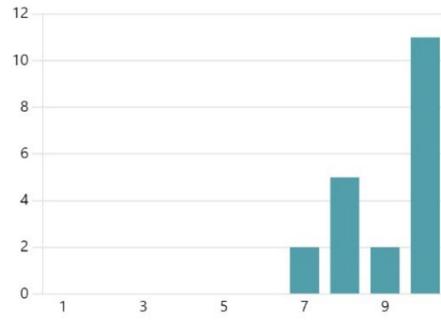


6. 9/24 (日) 八女フィールドワーク (0 点数)

詳細

🔍 インサイト

9.10  
平均評価

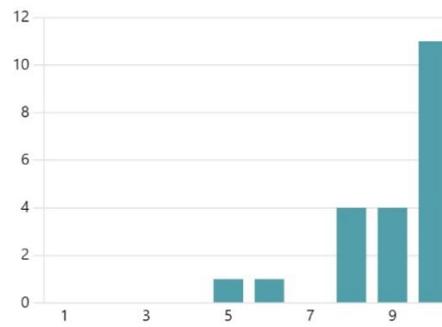


8. 毎週月曜 オンライン講義 (若林伸一) 各回のオンライン講義の総合評価 (0 点数)

詳細

🔍 インサイト

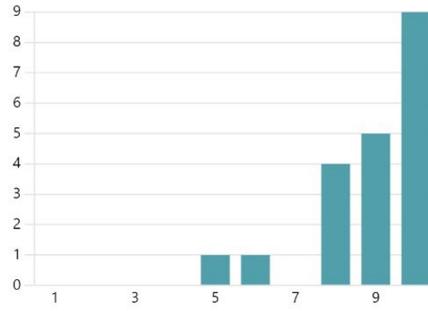
9.00  
平均評価



9. 毎週月曜 オンライン講義（若林伸一）各回のオンライン講義の総合評価 (0 点数)

詳細 [インサイト](#)

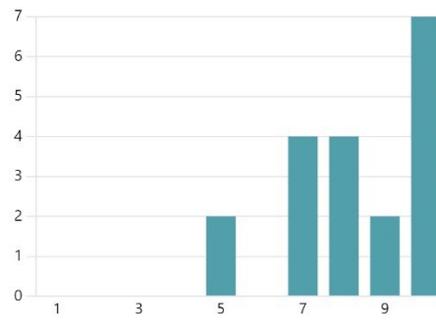
8.90  
平均評価



10. 毎週月曜 オンライン講義（信州大学・藤尾宗一郎） (0 点数)

詳細 [インサイト](#)

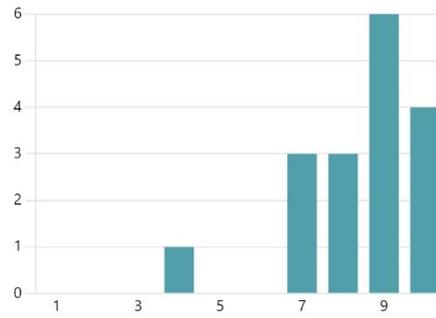
8.32  
平均評価



11. 毎週月曜 オンライン講義（十八新和銀行・長尾和弘）（0 点数）

[詳細](#) [インサイト](#)

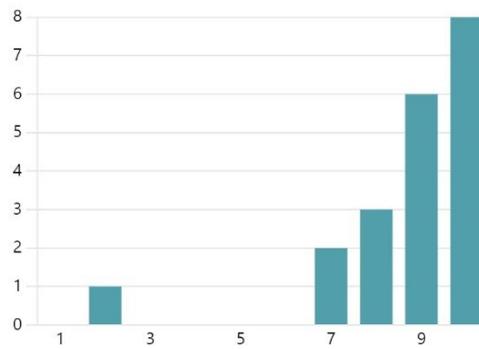
**8.41**  
平均評価



12. 沖縄合宿（体験指導者講習）（0 点数）

[詳細](#) [インサイト](#)

**8.70**  
平均評価

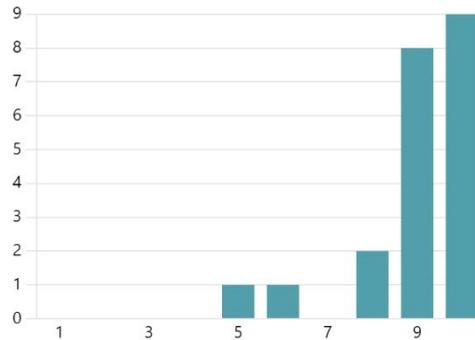


13. 本プログラム全体の満足度 (0 点数)

詳細

👁️ インサイト

9.00  
平均評価



設問①

回答者	八女フィールドワークの感想をご自由に記入してください。
1	
2	異業界から参加した身としては全てが新鮮に思えました。 特に NIPPONIA は実際に入れたことももちろん、昨今のトレンドを体験を通して学ぶことができ、とても貴重な機会になりました。
3	八女の街並みも感動したし、萩尾専務理事の話も実体験をお話頂き大変興味深く感じました。
4	地域の基礎的な情報（人口、人口推移、周辺自治体、観光資源、まち・ひと・くらし総合計画等ビジョン）を知ることで、従来とは異なるまちの見方ができること、を体験できた。 また、実際に活性化に取り組まれている観光協会の方のお話がリアルでよかった。
5	NIPPONIA 内見からの、商工会議所萩尾専務にプロジェクトの説明をいただけたことがとても勉強になりました。こういった具体的な地域の観光まちづくりの実践を見たり話を聞いたりすることをこのプログラムに期待していたので、取り組み前～実行～現在について当事者にお話を伺うことができる場所に収穫を感じました。

6	茶畑、街歩き、特にお祭りの人形浄瑠璃伝承の話が印象に残りました。文化伝承の大切さと難しさを肌で感じました。商工会議所での古民家ホテルづくりについて、必要経費や物件相続の実際について伺ったことが印象に残りました。
7	初回ということもあり、新鮮さがあり、多くのインプットを得られた。座学、まちな見学、現地の方の説明が良い Mix で学習しやすかった。
8	八女商工会議所の萩尾専務理事の具体的な展開のお話を聞いたのが非常に良かった。 フィールドワークの部分はもう少し段取りを良くして、グループワークなどがあったら良いかなとは思いました。
9	商工会議所の理事が実際に動きご苦労なさられて八女に尽力なさっておられるのが印象的でした。 持っている強みを NIPPONIA さん等々、外から得意な分野を持つところに引き上げてもらうのもとても良いと思いました。人形浄瑠璃と神社が盛り上がっている時節に行けたのも良かったです。 もう少し滞在時間があればなお良かったと感じました。
10	商工会議所の方のお話がとても参考になった。具体的な数字や裏事情もお話いただけたことで地域におけるキーマン（投資も含め覚悟をもった）の重要性を感じた。
11	短い時間で効率よくポイントを見ることができ、初めてのフィールドワークでも安心して参加できました。
12	
13	観光協会の方のお話を聞いたのはとても貴重な体験でした。失礼ながら八女市自体のともあまり存じ上げておらずでしたが、とても良い環境で取り組みも面白く、今度プライベートでも行ってみたいなと思っています。
14	八女商工会議所・萩尾専務理事のお話は、大変参考になりました。
15	商工会議所主体でもまちづくりを行っている地域があることを初めて知った。できれば八女茶に関わるコンテンツや食体験など（展望台以外）を体験したかった。
16	八女の地域商社うなぎの寝床の方のお話しなど外から八女に入って活動されている方のお話しを聞きたかったです
17	実際の現場を見ることで、具体的なまちづくりのイメージをすることができました。

18	地域の産業界が経済的な面からも具体的な方法をとって連携して、成功している事例としても興味深かった。また、特産品や伝統的な建築物を生かした観光まちづくりのあり方は、様々な地方都市を巡って、課題を考える上でも参考になると感じました。
19	街歩きの企画などを仕事でしていますが、一参加者として街歩きに参加すると、企画のポイントや全体設計などが勉強になりました。お祭りがおこなわれていたことや、その時にしか見ることができない舞台裏を見学できたことは価値ある時間でした。
20	八女の魅力がよくわかりました。八女の方とお話する機会があればよかったですと思います。
21	街歩き自体は楽しく、また商工会の方の生の声を聞けたことは非常に良い体験でした。 受講者同士のコミュニケーションの時間としても良かったです。  ただフィールドワークの目的がもう少し明確だとさらに良かったと思います。ワークやレポートがあったわけではないので、ただ見るだけになってしまった方もいる気がしました。成功事例としてのポイントを学ぶか、課題を考えてほしいのか、何を学びとってほしいのかがいまいち伝わってきませんでした。

#### 設問⑫

回答者	オンライン授業の感想をご自由に記入してください。
1	
2	一回が長く濃密な時間で、終わった後の疲労感がすごかったです。 グループワークが多く、毎回緊張感を持って参加できました。
3	定期的にグループワークもあり、聞きっぱなしでなく考える場があった事が大変良かったと感じています。
4	若林伸一先生を中心とした、講師の皆さんのリアルな取り組み事例を浴びるようにお伺いできたのが何よりの学びとなりました！

5	<p>全体的に、グループワークの時間が設けられていたので、自分ごととして考えながら参加できたのはよかったと思います。</p> <p>何回かリアルタイム参加ができず、ビデオ視聴となってしまったのですが、ハンドアウトを共有いただけたことで自分で復習もできたのでありがたかったです。</p> <p>月曜の夜というのが、なかなか週明けすぐで緊急対応が入ってしまうことが多く、火曜～木曜あたりの夜の方が参加しやすかったかもしれないとは感じました。</p> <p>(気になった点としては、ZOOM 録画が、途中スライド投影ではなくメンバー画面のみになっていることがありました)</p>
6	<p>若林先生の生い立ち、取り組んでこられたこと、に圧倒されました。また、参加前全くわからなかった体験を作り利益を出すことの過程について、一次産業や地域の課題、稼げる仕組み、活動を定着させるための地域インストラクター養成、等、講義を通じて理解することができました。</p>
7	<p>急な仕事や出張がはいることが多く、リアルタイム参加がなかなか叶わなかった。</p> <p>オンデマンドで講義を聴けるのはありがたかった。</p> <p>夕食や仕事からの切替準備も含めて、時間は 19:00-22:00 のほうが私は好ましかった。</p>
8	<p>講義を聞く時間とグループワークの時間のバランスが良く、良かったと思う。</p> <p>講師バリエーションがもう少し合っても良かったようには感じました。</p>
9	<p>リアル受講だった場合との隔たりを感じることなく、良かったと思います。</p> <p>現地に行かなくては…であれば難しかった可能性がお陰で広がりました。</p> <p>特に膨大で詳細でご自身の血の通った感を強く感じる若林先生の資料 ～遠い世界の研究者のエビデンスではない～</p> <p>が、ご本人のお話しと常に伴走してくれていたのが、飽くこと無く圧巻のうちに興味深く終わってしまいました。</p> <p>実際の合宿に向けてとても期待が膨らむ流れを作ってくれました。</p>
10	<p>毎週違う講師の方の参考事例を伺えると思っていたので、少し残念だった。ツーリズムの分野は幅広く鮮度も重要なことから、最新のビジネスモデルが学べるとの期待値が高かったのだ。</p>
11	<p>平日フルタイムで働いているので、18:30 開始は大変ありがたかったが、21:40 までは正直キツかったです。先生方の講義は楽しく参加できたため、何とか持ったという感じでした。</p>

12	<p>いずれの回もそれぞれに特色があり、とても勉強になりました。オンライン配信のため、後から配信を見直すことが出来たのも非常に助かりました。</p> <p>可能ならばもう少し様々な分野で実際に活動をされている方からの授業も受けてみたいと感じました。</p>
13	<p>毎週月曜日の 18.30 という時間が調整が難しい部分もありましたが、チームでのワークもあったり、若林先生の実体験のお話が面白かったりで始まってしまおうとあっという間でした。日本にはまだまだ活用されていない資源があるんだな、まずはそれを知ることからだなと思っています。西海市と沖縄でのプログラムの合間のオンライン授業も、この二つのレベルのギャップに合わせた内容だともっと良かったかなと思いました。</p>
14	<p>各回、大変勉強になりました。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 18:30 スタートは、少し早くて間に合わせるのがしんどかった</li> <li>・ 一方的に聞くだけの講義は、仕事終わりもあり、眠くなる</li> </ul>
16	
17	<p>オンラインではありましたが、グループワークも多く、他の受講者のみなさんとも交流しながら学ぶことができたので良かったです。</p>
18	<p>毎回、講義も内容が詰まっていた、授業後は疲れましたが、面白かったです。また、オンラインで一緒に受講している皆さんとも会話ができたので、フィールドワークの現場でお会いできるのも楽しかったです。</p>
19	<p>会社から自宅に戻る移動時間だったため、毎回、最初は耳だけ、後半に顔出し参加となりました。</p> <p>プログラム開発の企画の仕方などをもう少し学びたかったです。(沖縄合宿を経験してわかりました。知識も不足していることが)</p>
20	<p>若林先生の講義はおもしろかったです、せっかくなのでほかの先生の講義も受講したかったです。</p> <p>オンライン授業を見直したいのですが、可能でしょうか。</p>
21	<p>毎週とても楽しみでした。具体的な生の事例からお話されているので、とても参考になりました。</p> <p>Zoom でしたがこちらのリアクションをもっと伝えたかったです、！</p> <p>資料は事前展開されていたらなお良かったと思います。</p>

設問⑬

回答者	西海市フィールドワークの感想をご自由に記入してください。
1	2泊し、さらに調査、提案を深めたかったです。
2	自分が一番体験してみたかった、行政への提案体験ができ、個人的にはプログラムの中で最もありがたい時間でした。 今後進展があったら教えてもらえると嬉しいです。
3	西海市の風景はとてもきれいで地理的には大変厳しい場所なのかもしれないが、既存のアセットでも見せ方次第で可能性を感じる場所でした。
4	欠席
5	天気により全行程をまわれなかったのが残念でしたが、実際に副市長をはじめとする地域の方にプレゼンするというゴール設定は、生半可に取り組んでいてはいけないと身が引き締まりました。山下さんや観光課をはじめ、地元の方に実際に話を聞くことができたので、インプットもしっかりした上で考えることができました。
6	天気や交通事情等は仕方ないと思いつつ、雨天だったこと、バスが遅れてお昼のお料理が時間が経っていたことは残念でした。個人的には石鍋が印象に残り、発表題材に使いました。フィールドワークによって自分の興味の方向性に気づきました。グループワークはグループとして方向性を決めるのが大変と思いましたが、沖縄を経ると序の口だった、と思います。副市長に好意的な講評をいただいたのは嬉しい思い出です。
7	カリキュラム自体は有意義だった。 ただし、アイデアを出すという作業、発表をまとめるという作業で考えたときに、チーム編成と役割に難があったように感じる。この点は過去に参加した学習プログラムなどでも考慮されていた。 不特定多数のメンバーで新しいアイデアを複数生み出すときは、逆にリーダー不在のほうがよいが、発表をまとめる際には、権威的リーダーシップを持つ役割が1名はいないと議論の時間を浪費して成果が薄くなってしまうように思います（全員意見や考え方が違うので、もっとも低いレベルでもっとも誰も低いレベルな答えや成果に留まってしまう。）チームを組んで数週間という期間があれば、議論の中でリーダー他役割が決まっていって解消されていくが、短期では厳しかった印象です。
8	短い時間の中に色々な要素が詰まっていて得るものが多い講習でした。今回のプログラムの中で自分にとってはベストでした。

9	<p>長く別々にきた地域の統合の難しさと、資源（人的/経済的含む）の生かし方の難しさをととも感じる一例、のフルドワークとしてとても良かったと思います。</p> <p>同時に、役所の側からではなく、たった一人ででも自力で実際に始める人がいることの大切さも感じました。</p> <p>ゆきのうら渡辺督郎氏の活動でそんな印象を持ち、非常に参考にさせて頂けると感じました。</p> <p>（実際の流れを伺っておりませんのであくまで印象、ですが）</p> <p>昨今、感じるのは『とにかく自腹で始める』尊さ、です。</p> <p>私と一緒に頑張りたい、と思う方々の活動は殆どがそこからのスタートです。</p> <p>そこで小さくも成功し、その過程でノウハウも自力で見出し、その先に補助金や交付金、クラファン等々、そこが同じ価値観の仲間同志で活動を広げていく感覚かな、と感じます。自身もそうでありたいと、強く思い納得した次第です。</p>
10	<p>本趣旨は理解できるが、活性化を期待する各施設がつくられた経緯など含めて、もう少し丁寧なプログラム運営が望ましいと思えた。自由な発想による着眼点を促すには、もう一工夫必要だったのではないかと感じた。</p>
11	<p>見学場所が多く、もう少しゆっくり見学したいと感じることがありました。（移動が多く、あわただしい感じ）</p>
12	<p>西海市の観光協会の方から、現在困っていることや、解決したい課題、活かせるような資源のお話を直接ヒアリング出来たことで、その後のグループワークで取り組むべき問題がはっきりとしていたのがとても良かったと感じています。</p>
13	<p>一泊二日で体験スケジュールをプレゼンするというのはなかなかハードでしたが、副市長や役所の方々がメモをとりながら聞いてくださったのはとても印象的でした。私たちの案が実現されたらぜひ連絡をいただきたいです。東京に帰ってからスーパーで西海みかんを見つけ、迷わず購入しました。一度行ったことのある場所だと、スーパーで見つけても目につきやすかったり、出会った方々のことが頭に浮かんできたりして、改めて「町に来てもらう」ことはとても重要なのだなと感じました。</p>
14	<p>地域おこし協力隊の山下さん、渡辺市議、また副市長はじめ西海市役所の方々に、リアルな話を聞くことができ、大変参考になりました。現地を視察する事の意義を良く感じられました。セッティング頂きありがとうございます。</p>
15	<p>雨だったため、西海市のポテンシャルを感じにくかったのは残念だった</p>
16	<p>西海市で実際活動されている渡邊さんのお話しをもっと聞きたかったです</p>

17	具体的な提案の仕方まで学ぶことができたので良かったです。当日でなくても、それぞれの班の提案に対するフィードバックがあるとより良かったと思いました。
18	初めて訪れたまち・西海市での体験は、普段、観光で訪ねる町の課題や原風景にとっても似ているものがあった。日本全国でいろんな観光まちづくりが行われているけれど、その場所ならではの魅力とは、本当は何なのだろう、ということを改めて考えさせられた。案外、普遍的な気がした。時代や流行が移り変わる中で、生活の延長線上にある観光まちづくり、という視点があるような気もした。
19	地域資源にあふれている西海市でも困っていることが多々あることに驚きました。もっと困っている地域は多くあるんだろうかと思います。各班のプレゼンが素晴らしかったと思います。一つでも実現できると嬉しいです。
20	西海市の魅力や課題が伝わるフィールドワークでした。グループワークの時間が短く大変でした。グループでの発表の後で、会場に来られていた地元の方と交流する時間があればよかったと思います。
21	雨だったのは残念でしたが、実際に伸び悩んでいる地域の事例を地域の方と一緒に巡れたのはとても良い経験でした。個人ではできない体験だと思います。  今ではすっかり西海市のファンになってしまいましたし、今後の動向も気になります。  座学もさることながら、フィールドワークは強く印象が残るので、ぜひ今後もプログラムにできるだけ組み込んでほしいと思います。  また、休日にも関わらず役所の方が多数ご参加されていたのはとても印象的でした。

#### 設問⑭

回答者	沖縄合宿の感想をご自由に記入してください。
1	時間的にしんどかったです。
2	体力的に相当しんどかったです。 思い出に残る時間になりました。 また、プログラムを作る難しさが身に染みて分かりました。

3	<p>3泊4日と長丁場の合宿でしたが、素晴らしい環境とホテルで今思えば大変良い勉強・体験ができたと思います。かなり寝不足でしたが・・・</p>
4	<p>&lt;グループワークについて&gt;</p> <p>日中時間内のグループワークの時間確保がほぼ無い中で、当日に組成されたグループでのコンテンツ検討～マニュアル化・実技、というのは気力・体力的にもしんどかったですし、振り返ると反省点ばかりですが、それも含めてよい学び&amp;気づきの場にはなりました！</p> <p>ただ、カリキュラムの目的としては、体験プログラムのマニュアル化が主軸だと思いますので、</p> <p>グループワークメンバーは事前に決めておいていただき、当日までに情報交換させ、</p> <p>初日にはコンテンツ案が決まるように段取りいただいても良いのではないかと思います。</p> <p>(その方が、講義・講習やカリキュラムづくりにも集中できるかと)</p> <p>また、体験プログラムのマニュアル化に向けては、ひな形や参考例はご提示いただいても、カリキュラムの目的達成を阻害しないのではないかと思います。</p>
5	<p>これまでの学びの流れの中での実践だったので入りやすかったのと、実際に手やからだを動かして身につけていくという、「知る」から「わかる」につながる実践だったなと感じます。</p> <p>西海市は実際に現地の方に話を聞いたり、ネット上だけではわからない魅力や課題を知ってから提案を考えることができた一方、南城ではネット情報レベルしか情報収集ができず、現地の方に話を聞いたりする機会があったらよりよかったなとは思いました。</p> <p>実技については、今後の戒めのためにもどこがどう減点されたのかなどフィードバックがいただけたらよかったなとは思いました。(どのグループが何点だったのかなど、よかったところや改善点をみんなで認識できたらよいと思う一方、点数の低いチームが晒されるというのは酷なのかなとも思いましたが、)</p>

6	<p>密度の濃い4日間でした。講義で学んだことを短期間でグループとしてつくりあげ、参加者に対して実践したことは、とても貴重な体験でした。講評いただけなかったことは残念。各チームの提案と実際の体験について、よいところ、改善点を知り、学びを深めたかったです。寝不足が重なり、体力的にきつかったのですが、自身の体力の限界、使い方も含めて学びだったと思います。チームの雰囲気は明るく穏やかで、建設的な議論ができました。屋外体験では特に参加者の管理が難しいことを、身をもって知りました。宿泊施設の食事がおいしく、温泉でリフレッシュできたことはたいへんよかったです。</p>
7	<p>西海市同様の感想です。20年近く前に、まだ新人で地方営業をしていた頃を思い出しました。あの頃はまだ徹夜・残業続きでしたが、もう何年もそのような生活から改善していたので、最終日は倒れそうなくらいでした。先生方も学生以上に準備などあるだろうに、夜遅くまでお付き合いいただき感謝です。</p>
8	<p>正直深夜までやる設定の研修は無理があると感じました。学生なら良いが、社会人として体調管理に努めているのにも関わらず、無理をしなければならない状況は相当ストレスでした。</p> <p>研修に行くために本業、副業を前後に相当詰め込んだ状況なので、終了後もまだ体調不良引きずってます。この点以外は受けて良かったと感じておりますので悪しからずでお願い致します。</p>
9	<p>都会で、ではなく、実際に自然と対峙することから学ぶ（教える側も）とは、こうゆう事。</p> <p>たった3泊4日ではありましたが、それも快適なホテルの中での学びでしたがとても多くのことを感じ学び授けて頂けたように思います。</p> <p>正直、連日遅くまでのグループワークで初日からめげそうでした。従来の『勉強』『早く正確に大量に処理し回答する』を遥かに凌ぐ、答えのない『自然相手』にどう学び、学ばせるか。根底に据えるべき心の持ちようから教えて頂くには最高にして最強のプログラムだったと、終わってみて初めて気づきました。目に見えるものから見えないものそして法令や実際の保障に至るまで、数少ないであろう真の実践を積まれた素晴らしい先生に直に学べたことはとても幸運なことでした。</p> <p>心配があるとすれば、評判を呼んで、多分全国に広がっていくであろうこの講習の教える側が担い手不足になってしまうかも、ということでしょうか。</p> <p>出来ることなら私自身がより体験・勉強を重ねてその担い手になれたらと感じる次第です。とてもとても良い経験になり有り難うございました。</p>

10	なぜ沖縄での合宿だったのか？（福岡でもいのでは？）と感じながらも、チームビルディングの過程をリアルに体感することができた。ただ、宿泊については、シングルユースにさせていただいたほうが有難いと感じた。
11	グループワークの時間がもっと欲しかったが、学びが多く、大変有意義な時間を過ごすことができました。
12	沖縄合宿のグループワークに関しては、西海市のフィールドワークと比較しても課題点の整理が曖昧であったため、正直なところ事業立案の方向性が曖昧になってしまったような印象がありました。実際に事業立案として行う場合にはそうした課題点整理のなされていない場合も多いとは思いますが、様々な分野での課題解決のノウハウを持っている人々が集まっている場ではあると思うので、沖縄県側が感じている解決したい課題、という部分をもう少し明らかな状態にして欲しかったと感じています。
13	「一時間の体験プログラムを作る」と聞いた時には西海市の時よりも時間が短いなと思っていたのですが、実際にそのプログラムを運営する・体験してもらう、となると大変さが全く違うということをもっと体感しました。西海市でのプログラムづくりからとても良いステップアップになっているなと思いました。連日睡眠不足でしたが、とても良い環境で学ばせていただくことができました。 私はたまたま同じグループの方と一緒に部屋だったのですが、部屋に入れず廊下で時間を潰していた、という話もちらっと聞いたので部屋割りには工夫していただけたら良いのかなと思います。
14	時間が足りておらず大変でしたが、全体的にグループ皆で協力して楽しく学ぶ事ができました。
15	事前の下調べをしていなかった自分もよくなかったとは思いますが、もう少し現地でリサーチをする時間が必要ではないかと思った
16	参加していません
17	体験活動の作成や、グループでの活動など、とても大きな学びになりました。ただ、スケジュールが詰まっており、深夜の活動ありきの合宿になっていたのは改善する必要があると感じました。また、せっかく沖縄という地での合宿であったのに、ほぼホテルに籠りきりであったのは残念でした。自然体験学校の見学などが組み込まれていたら良かったと思います。西海市と同様、それぞれの班に対するフィードバックをいただけたらより学びにつながったと思います。

18	現地を訪ねて、数日間で、その場所の魅力を体験するプログラムを作る。この経験は、自分がその場を見る力、魅力を発見する力、人を魅力するまじの力とは何か？を瞬時に考えられる多様な視点を持つことの大切さを痛感させられました。もっと、勉強したいと思います。
19	自己能力の現実を目の当たりにしたこと、知識、スキル、体験、経験、すべてが不足していることに気が付きました。研修会場のホテルは最高でした。自然体験学校のアトラクションを体験してみたかったです。モデルとして。結果的に、「正解」はないのかもしれないですが、「正解」に近い地域にお金を落とせるモデルプログラムを体感することはできませんでした。あと数日あるとその体験ができたかもしれません。
20	短期間で体験活動の運営を学んだり、経験豊富なグループの方と一緒に活動ができたことは貴重な経験になりました。宿泊、食事など配慮いただいでいて、グループワークに集中できました。グループワークの評価が気になります。
21	非常に充実しておりあつという間でした。先生が地域で実践されているプログラムづくりや、人材育成を体験できたのは貴重な経験でした。 会場も素敵なホテルで温泉に食事に大満足の施設でした。 強いてあげるなら、作業場所を、もう少し遅くまで使えたら言うことなしです。。！ また、講習のスケジュール上難しかったのだと思いますが、西海の時のように地域の人と関われる時間があるとなお良かったです。

#### 設問⑮

回答者	救急救命講習についての感想を自由に記入してください。
1	以前に消防の救急救命講習を受けましたが、こちらの方が丁寧でした。
2	何度か似たような講習を受講したことがありましたが、ゴム手袋をしてやるのは初めてだったので、安全管理の徹底差に驚きました。
3	今まで経験したことが無かったので、非常に参考になりました。講習を受けるか、受けていないかでは、有事の時には全く違うと思います。忘れないようにしたいと思います。
4	なかなか自分ごととしてとらえることができなかつた講習ですが、体験プログラム実施にあたっての必要スキルということで、目的意識をもって受講ができ、大変良かったです！

5	何回も反復練習をしたことで、これまで受けてきた救命救急講習のなかで一番身についてなと感じます。人数も4人で1人形くらいがちょうどよかったです。
6	以前に同様の講習を受けましたが全く記憶に残っておらず、とても使えないと感じていました。今回は繰り返し練習することで、応急手当に対して一步を踏み出す恐怖や不安は減りました。手順を忘れないように時々練習すること、必要品を持ち歩くこと、を継続できたらと思います。
7	勉強になりました。昔、中学生くらいの時に同じような講習を一度やったのを思い出しました。 一度だけでしたが、結構覚えていることもあり、今回の講習で記憶が定着されたように感じます。身近に目撃したら勇気をだしてやってみたいと思います。
8	定期的な講習必要だと実感しました。(すっかり前に受けた内容忘れてました)わかりやすく、良い講習でした。
9	救急救命講習をいつか受けたい、受けなくては、と願っておりました。 今回の受講でそれが叶いとても良かったです。 特に嬉しく感じたのは 明るく爽やかな中にも、流れるように澁みない安心感で実習を交えながら説明して頂けたことです。聞けば実際の医療従事者さんとのことで、さすがという講習でした。
10	とてもわかりやすく楽しく講習を受けることができた。現場で活かしていきたいと思います。
11	大変分かりやすく、楽しく学ぶことができました。ただ、(講習とは関係ないのですが)地べたに座っていたので、腰が痛かったです。もう少し椅子があればよかったかも。
12	何度も実践してロールプレイを行うことで、一連の流れとして次に何が必要なのか?ということが身体に慣れていく感覚があり、そうした経験があることで、咄嗟に判断することの難しい場面でも適切な行動が取りやすくなるだろうなと感じました。
13	この講座を通して資格を取れるのはありがたかったです。同じチームでの講習だったので、お互い抜けている部分も指摘しあえたり、補い合ったり、一緒に合格しようという気持ちで受講することができました。中村先生の教え方がとても分かりやすく、楽しんで受講できました。
14	これまで全く未経験でしたので、非常に勉強になりました。
15	・1年に1回くらいフォローアップがあるといざという時に活用できるような気がする

16	参加していません
17	わかりやすく学ぶことができて良かったです。
18	実践的な方法を訓練できて、とても得難い経験でした。今回学んだことを、自分のものにできるように、引き続き、学んだことを忘れないように、これからも練習したいと思います。
19	何度か、救命救急講習を受けたことがありますが、なんどやっても、緊張します。実際の現場に直面しても、冷静に対応できるようにしたいと思います。訓練は必要です。数は必要です。誰もがができるようになる社会だといいなと思います。
20	説明が丁寧で実技も多かったので、少しは身についたと思います。
21	自動車免許取得ぶりでした。 非常に大切な知識だと思うので、改めて学び直せて良かったです。  心配蘇生方以外にも、止血や低体温症への対応など色々なケースを学べて勉強になりました。

設問⑩

回答者	本プログラム全体の感想を自由に記入してください。
1	受講出来て良かったです。
2	観光業界への転職を考えている中で、業務体験をしてみたいと考え受講したプログラムでしたが、想像以上にしっかり体験ができ、良かったです。特に西海市のフィールドワークでは実際に副市長さんなどもいらして、本物さながらの雰囲気を経験できたことは個人ベースでやろうとしても難しいので、受講した意味があったと思っています。
3	3度のフィールドワークと毎週のリモートでの講義、3ヶ月仕事がある中、結構ハードでした。しかし今考えればあっという間の3ヶ月で、今後の私の会社での仕事だけでなく、それ以外でも十分活用できる内容も多く有意義な時間でした。

4	<p>私自身、所属する組織（会社）が地域創生に関わる一方で、個人としては地域創生・まちづくり初心者であり、受講前～受講当初は、なかなか興味を持ってない＆理解が追い付かないところがありましたが、リアルに観光まちづくりに取り組んでいる先生方や参加者の皆さんのお話やご意見を聞き、大変な学びになりました。</p> <p>また、参加しなければ出会うことの無かった人との出会い、気づけなかった自分の強みや弱みへの気づきも、大きな価値だったと考えています。</p> <p>会社としての取り組みへの反映には、まだ道筋を見いだせていないのですが、少なくとも、いつか個人（Wワークなど）として、観光まちづくりに携わりたいと思っています。</p> <p>先生方、事務局の皆様、本当にありがとうございました。引き続きよろしくお願いいいたします。</p>
5	<p>観光まちづくりについて、実践や実例を学びたいとおもっていたので、若林伸一先生のご自身の経験やノウハウをたくさん公開いただき、様々な地域の具体例を学ぶことができたことはとても貴重な機会でした。</p> <p>フィールドワークは3回でしたが、最後の沖縄は内容が濃かったこともあり、参加者のみなさんともより深く交流でき、今後も繋がっていける仲間ができることも大きな収穫でした。改めて参加してよかったなと思っています。</p>
6	<p>密度が濃いプログラムでした。事業構想大学院の自由闊達な雰囲気先生方から感じました。座学で学んだことを実践を通じて体感したことが最大の成果だったと思います。</p>

7	<p>将来を見据えて今のうちに、国内観光資源や地域の魅力を再発見したり、そのビジネスモデルをインプットしておくという意味では、おかげさまで当初目的を達成でき有意義でした。若林伸一先生の講義や卒論のおかげで、具体的な収益・支出も見ることができ、そこらの大学の机上の講義よりも、格段良かったように感じます。</p> <p>課題意識もある程度できてきました。</p> <p>優秀で熱意のある人材がまちづくりには欠かせないとして、都市部から地方に人材が動かない要因として給与水準は結構あるなど。年収 600 万⇒500 万くらいなら現実的だとしても、年収 1,000 万⇒500 万とか 1,500 万⇒500 万とかはかなり抵抗あるはずなので、そうなると熱意はあっても踏み切れない。</p> <p>個人でチャレンジするにしても、団体にチャレンジするにしても、まちづくりは、まずその地域だけでどのように自走して儲けるかと、どう全国的な組織に発展させていく（さらにマニュアル化して、さらに儲ける）かというのはひとつ課題であるなど感じました。</p> <p>普段とまったく接点のない話だったので、一緒に学んだ方々も含めて、すべて新鮮で勉強になりました。教授陣・スタッフにも感謝です。</p>
8	<p>スタッフ、講師、受講生全員一生懸命でアグレッシブな方が多く、とても気持ちよかったです。</p> <p>出会いと経験に心から感謝申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一回目の企画ということで、色々な人種の方が集まっていて普段接しないような方も多く、非常に良い経験となりました。頂いた人脈も含めてプログラムは終わりではなく、ここからだなと思っています。</li> <li>・西海市のプログラムは非常に面白く、他のメンバーから得るものが多かったと思います。</li> <li>・自分が現在本業でも副業でも関わっている要素が多く、いつも行っていることを改めて見直す機会になりました。</li> </ul>

9	<p>長かったようであつという間に終わってしまいました。とても充実した素晴らしいプログラムで大変感謝しております。あれこれと日程等々の調整をした甲斐がありました。</p> <p>何が凄いか、というと特に若林先生の手法の『持続可能な計画と実行』だと感じます。誰一人、損や搾取をしない設計になっている、だから自然からも搾取しないまちづくりに循環していくのだと感じます。根底にあるのは『自分のその手で』『愛を持って』面倒くさいことこそが持続可能を創り出しそれこそがその地域の特別な価値を際立たせる。他地域との価値の交換により、より大きく経済となって回っていくそして経済の血液であるお金も回っていかれることになると感じました。</p> <p>まちづくりのみならず、教育全般や家事育児、WHO の健康、会社経営、都市を考える上でも『自然の中で地面（河川や海、森）に繋がり自分も自然の一部であると学ぶ、その手で生きるチカラをつける』ことで人々自身が大きく変容〜ちよようど良い昔に戻る〜ができたなら様々な現代社会の困りごとの多くは解消するのではないか。企業の都合等々ではなく『属人的』な拡がりからしっかりとボランティアや自己満足では終わらせない。そして何より地域の方々こそが自身の地域を知り愛し生かしながら自然環境を守りつつも経済活動にもなるというこの仕組み。まるで知恵の輪を解くような感覚でスッキリした気持ちでいます。</p> <p>そして、一石三鳥も五鳥もありそうなこのプログラムをもう一度振り返りつつ、自身のまちから自身が出来ることを考えていこう、そう思っております。都会ではとても想像のつかない、また、リゾートで旅をしたとしてもとても気づけない生きた学習ができたことを本当に感謝しております。</p>
10	<p>観光地域づくり・・・なので、自然体験に偏ることなく、もう少しテーマを幅広く設定したビジネスモデル構築型のカリキュラムでもいいのではないかと感じた。</p>
11	<p>非常に学びが多く、参加してよかったと思う。同じ方向を向く方々と知り合うこともでき、満足しています。このようなプログラムがあれば、また参加したいと思いました。</p>
12	<p>正直なところ、当初自身が想定していた授業内容と、実際の授業との間に若干ギャップがあったのですが、観光、地方創生という枠組みにこだわらない、密度の濃いフィールドワークや講義内容が多く、様々な事業構想に関して2ヶ月間集中して学ぶことが出来たので、非常に勉強になりました。</p> <p>他の参加者の方の積極性から受けた刺激も多く、貴重な経験となりました。</p>

13	普段話す機会のない方々とお会いできたこと、お話ができたこと、一緒にワークができたことがとても良い体験になりました。「観光」「街づくり」という今まで自分の中であまりピンと来ていなかったワードが、授業を受けたり参加者の方々と話す中で段々と腑に落ちて、自分の中で感覚として持てるようになったことはとても大きかったです。実際に自分たちで体験プログラムを作ってみて、非常に大きな労力と細かな配慮で作られていることが実感できました。
14	3ヶ月という短期間でしたが、気づきと学びばかりでした。こういった機会を提供頂き、ありがとうございます。観光業界以外の方が多く、あらためて観光業界の裾野の広がりを実感しました。今後の観光まちづくりで実践と改善を繰り返していきます。
15	観光まちづくりプロデューサー養成と銘打っているが、体験観光の開発に大部分を振っているのちょっと、違和感があった
16	若林伸一先生の実績をたくさん聞けてのはよかったです。もっと他の観光まちづくで活躍されている方の話しも聞いてみたかったです。
17	現在観光やまちづくりの仕事をしているわけではないため、参加して良いのか迷いましたが、参加して良かったです。様々な立場の方々と出会い、学びを深めることができたことは、これからの仕事や活動について考えるきっかけになりました。ありがとうございます。
18	短い間でしたが、日本の地方都市が抱えている課題や、観光に関して、これまでの抽象的なイメージだけでなく、具体的に事業化する視点で、多様な視点を学ぶことができました。とはいえ、やりっぱなしで学んだだけでは忘れてしまうので、もう一度、復習したいと思っています。また、一緒に学んだそれぞれの専門的な視点をお持ちの方々にも、学ぶことが多く、刺激をいただきました。
19	とても有意義なプログラムだったと思います。しいていうならば、成功プログラムを体感したかったです。そして、それをもとに、具体的なポイントがどこにあるのか、どんなポイントなのかはひも解かれるとよかったですと思います。
20	いろいろな方と出会うことができ、いい経験になったと思います。 自然体験学校や事業構想大学院大学のことは、この度初めて知りましたが、自分自身のなんとなく考えていることと合っていて、これから何かを始めたい気持ちになりました。この経験を活かしたいと思います。

21	<p>本当に充実した3ヶ月間で、想像してた何倍も良いプログラムでした。</p> <p>講義やフィールドワークの内容、先生、受講者、事務局の皆さんとのつながりは今後の自分にとって大きな財産となりました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
----	--

設問⑰

回答者	今後のプログラム企画の参考にしますので、ご意見、ご提案など自由に記入してください。
1	プログラムの趣旨を反映して、講座名を「体験観光まちづくりプロデューサー…」とすることでも良いのかと思いました。
2	フィールドワークの講評がもう少しあると良かったなと思いました。 どこが良かったか、どこが改善点だったかなど
3	今回ご参加の皆さんは色々なバックボーンをお持ちで、学習意欲の高い方ばかりで、一番良かった事は、そんな皆様とつながりが持てた事です。講義やフィールドワークの合間に新商品アイデアをを頂戴したり、今取り組んでいる新規事業案の相談など時間が少ない中でディスカッションできた事が大変うれしく思いました。
4	沖縄合宿のグループワークについては、カリキュラムの目的となる部分に集中できるような段取りにさせていただけると良いと思いました（沖縄合宿の感想に記載）
5	<p>①上記の通り、オンラインについては週明け月曜よりも火曜～木曜で設定したほうが参加しやすい人が増えるのではないかと思います。</p> <p>②沖縄のホテルはとても快適でしたが、相部屋となるとお風呂は大浴場を使いたいと思うので、お風呂の営業時間がもう少し長いとよかったなとは思いました。</p> <p>部屋が別グループの人だと、部屋戻り時間がずれてしまう、同じグループの人だとシャワー渋滞が起こる、ということで家なき子のようになってしまう方がいました。が、全体的には快適で、会議室も広く使いやすかったです。</p>
6	全国の地域活性化に関わる課題意識の高い方にひとりでも多くご参加いただき、活動の輪が広がるといいと思いました。
7	

8	<p>研修については、受けることができていると本当に良かったと感じています。その前提でプログラムをより良くするために、下記意見させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的にグループワークはやりっぱなしではなく、お互いのフィードバックや講師のフィードバックがもう少し合っても良いのではないかと感じました。</li> <li>・プログラムのゴールが見えないのが少し残念でした。</li> </ul> <p>白石さんに若林伸一先生のような人材を作りたいとこのプログラムを計画したと伺って、プログラムの内容が腑に落ちました。事業構想大学院大学がやるプログラムということで皆さん構想を考えるイメージでいらしていた方が多かったように感じます。事業構想を考えるには沖縄研修のような実際のシュミレーションが大事なものは、私自身が同じような仕事をしているため理解できますが、一部の方には伝わっていないような気がしました。</p> <p>順番的に実際のシュミレーション→事業構想の順番で事業構想をゴールにした方がより目的が明確に伝わると感じました。</p> <p>連休に沖縄に行くのは交通費面では負担が大きく、沖縄まで行かないとできないことなのか？沖縄でなくても良いのではとも思いました。</p>
9	<p>なかなか自分自身が役に立てずもどかしく感じておりますが、やはり目玉は沖縄のグループワークだったように感じます。そこで大変救われたのは、日頃ビジネスで結果を出しているであろう方々のバイタリティーや処理能力や責任感でした。どれだけ世話になったかわかりません。</p> <p>色々幅があれど、そこにも恵まれていて今回のプログラムが充実していたのだと感じています。</p> <p>もしもあればなあ、と思うのは</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①プログラム作りワークのヒント集を見たいとは感じました。全く別分野で生活していた身にはハードル高く感じましたがそこも意図あることとは思いますが。</li> <li>②想像よりも受講が広範囲からお集まりで意外でした。東京が多い印象でしたが、それでもそれぞれにご実家等々で関わりのある地域をお持ちでその共有ができていと互いの交換がよりできると感じました。東京 Only でなんとか自身の第二・第三の地域を持ちたい、繋がりたい！という方は非常に多いと感じます。この場で出会った人を通して、というのはとても心強く支え合える嬉しい繋がりと感じます。</li> </ol>
10	

11	グループワークが多かったのは集中力が切れずによかったと思いました。メンバーと知り合うきっかけにもなりました。(最初はグループワークが毎回あることにドン引きでしたが、最後の方では慣れました)
12	地方創生に関する事業構想、ということで、当初は政策面にも触れる内容を想定しておりましたが、かなり現場での解決手法に近い部分での事業構想案の立案が主体となっており、そうした部分のアピールも少し欲しかったな～ということを感じました。  また可能ならば懇親会以外のパートでも各個々人との交流がしやすい交流の場があると嬉しいと思いました。
13	
14	セカイホテル ( <a href="https://www.sekaihotel.jp/">https://www.sekaihotel.jp/</a> ) の視察
15	可能であれば、もう少し時間をかけて、地域のことを知り、提案できるようにしてほしい。 例えば、講義→地域でのフィールドワーク→戻ってグループワーク+講義→同じ地域で再度 FW (自然体験活動リーダー) +発表 のような流れはどうでしょうか？
16	最初から日程は提示されていましたが、沖縄合宿の4日間が参加できませんでした。もっと近場だったら途中抜けて合流できたかもしれません。参加出来なかったのが残念でした。
17	
18	八女・西海市のフィールドワークでは、致し方ないですが、時間の関係でゆっくり見ることができなかった箇所があったのは少し、残念でした。通り過ぎるだけでも、キャッチする能力がいるのかとも思いながら。事前学習を自主的にでもできて良かったかもしれないです。
19	沖縄でのベストプログラム (若林先生が準備されている答え) が知りたかったです。それぞれのグループへの講評を聞きたかったです。 質問に行くタイミングが結果的に遅くなってしまい、そこそこの指導を受けられなかったのは残念でした。
20	短期間で、フィールドワークもあり、魅力的なプログラムでした。大学院への入学は金銭的に難しいですが、短期のプログラムがあれば参加したいです。オンラインも手軽でよかったです、いろいろな出会いがあったので、対面での講義もよかったです。

21	<p>参加者同士のコミュニケーションの場をプログラムの中にもっと組み込んでいただけるとなお良いと思います。</p> <p>色んな人と話していた方だとは思いますが、 同じ班にならないと中々会話できない、また同じ班でも作業に没頭してしまうと意外に話せないと感じました。</p> <p>以下あったらいいなと思うことを挙げさせていただきます。(参加者同士でやるのが理想ですが、中々そうもいかないのが現実だと思うので、)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各回のオンライン講義で数人ずつ自己紹介してもらう</li> <li>・初回に受講者のLINEグループを作り、情報をシェアしやすい環境を作る</li> <li>・オンライン、オフラインでの有志の懇親会を開く</li> <li>・対面の機会にチームでのワークの他に、お互いを知れるアイスブレイク等やる</li> </ul>
----	---

設問⑱

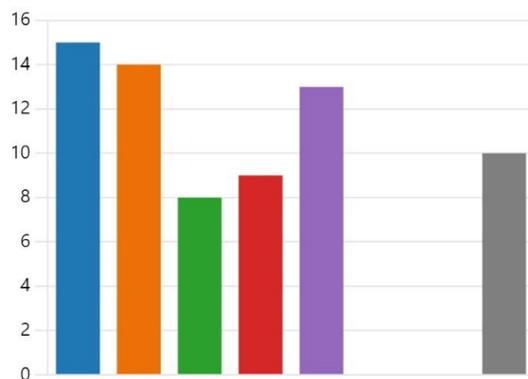
回答者	本プログラムを今後どのように活用されたいと思いますか。
1	現在の仕事に生かしていきたい;将来の仕事に生かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
2	将来の仕事に生かしていきたい;
3	現在の仕事に生かしていきたい;将来の仕事に生かしていきたい;
4	現在の仕事に生かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
5	現在の仕事に生かしていきたい;
6	将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;現在の仕事に生かしていきたい;
7	将来の仕事に生かしていきたい;救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい;

8	現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；さらに、リスキリング、勉強、研究を深めていきたい。；
9	現在の仕事に生かしていきたい；将来の仕事に生かしていきたい；現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい；さらに、リスキリング、勉強、研究を深めていきたい。；
10	現在の仕事に生かしていきたい；救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい；さらに、リスキリング、勉強、研究を深めていきたい。；
11	将来の仕事に生かしていきたい；将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい；
12	現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい；さらに、リスキリング、勉強、研究を深めていきたい。；
13	将来の仕事に生かしていきたい；現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；
14	現在の仕事に生かしていきたい；将来の仕事に生かしていきたい；救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい；さらに、リスキリング、勉強、研究を深めていきたい。；
15	現在の仕事に生かしていきたい；
16	現在の仕事に生かしていきたい；将来の仕事に生かしていきたい；現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；
17	現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；現在の仕事に生かしていきたい；将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい；将来の仕事に生かしていきたい；
18	現在の仕事に生かしていきたい；将来の仕事に生かしていきたい；将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい；さらに、リスキリング、勉強、研究を深めていきたい。；
19	現在の仕事に生かしていきたい；将来の仕事に生かしていきたい；現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい；救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい；さらに、リスキリング、勉強、研究を深めてい

	きたい。;
20	現在の仕事に生かしていきたい;将来の仕事に生かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
21	現在の仕事に生かしていきたい;将来の仕事に生かしていきたい;救急救命が必要な現場に遭遇した際に生かしていきたい;

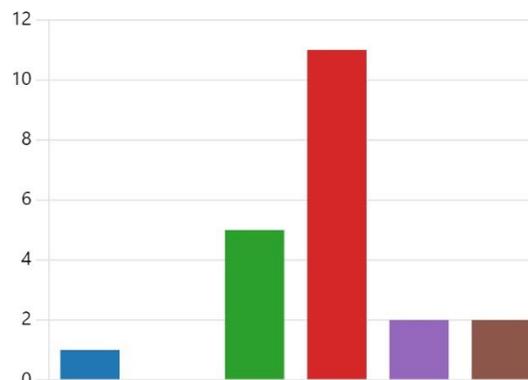
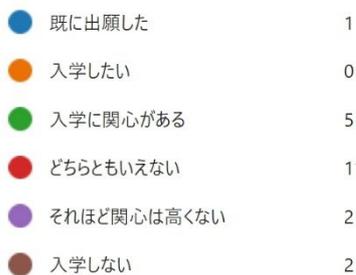
21. 本プログラムを今後どのように活用されたいと思いますか。(0 点数)

詳細



22. 大学院修士課程への関心 (0 点数)

詳細



観光まちづくりプロデューサー養成プログラム  
12月ショートプログラム  
募集要項

## 募集要項

### 日程

2023年12月2日（土）～3日（日）  
（2日間）

### 会場

事業構想大学院大学福岡校  
オンライン  
（ハイブリッド形式）

### 受講料

無料



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

## [5] 開講概要

### 開講期間

2023年12月2日（土）・3日（日）（2日間）

### 会場

事業構想大学院大学 福岡校  
(JR,地下鉄「博多駅」博多口直結)  
オンライン

### 主な受講対象

- 観光、まちづくりに興味・関心がある方
- 観光、まちづくりに関する事業構想に取り組みたい方
- 本学修士課程入学を検討している方

### 応募資格

- ・社会人の方であれば、学歴、職歴、年齢等の資格はありません。
- ・居住地にかかわらず全国から参加可能です。

### 受講料

無料（文部科学省の助成による）  
集合場所までの交通費は含みません。懇親会費は実費徴収。

### 募集人数

10～20名程度

### 単位認定、取得できる資格等

なし



## [6] カリキュラム概要

### カリキュラム内容（予定）

事業構想と観光まちづくり

観光まちづくりとは  
地域の自走化  
観光は地域の総合産業

観光で重要なこととは  
地域の価値を「ことば」にする

観光まちづくりの課題  
国内の一次産業の課題  
国内の自然学校の課題  
国内のまちづくり団体の課題

観光まちづくりの手法

など



## [6] カリキュラム概要 (スケジュール)

### 1日目：2023年12月2日 (土)

10:30～ 受付

11:00～13:30 (午前の部)

オリエンテーション(自己紹介等)

事業構想×観光まちづくり

井手隆司

観光まちづくりの実践①

若林伸一

13:30～14:30 昼食

(リアル参加者は、現役院生とのランチ交流会)

14:30～17:30 (午後の部)

観光まちづくりプロデューサーへの道 若林宗男

観光まちづくりの実践② 若林伸一

グループワーク

17:30 1日目講義終了



## [6] カリキュラム概要 (スケジュール)

### 2日目：2023年12月3日（日）

10:30～12:00（午前の部）

観光まちづくりの実践③  
グループワーク

12:00～13:00

昼食

13:00～17:00

観光まちづくりの実践④  
グループワーク  
発表会  
講評

17:00 2日目講義終了 解散



## 【6】カリキュラム概要（リアル特典）

【以下、リアル参加者のみ】

1日目：2023年12月2日（土）

18:30～19:50 福岡オープントップバスツアー

18:30福岡市役所出発→市内中心部→都市高速→福岡タワー・paypayドーム→大濠公園→  
19:50市役所福岡きらめき（福岡タワー）コース - 福岡オープントップバス



コースMAP



20:00～21:30頃 交流懇親会

 学校法人 先端教育機構  
事業構想大学院大学

観光まちづくりプロデューサー養成プログラム  
12月ショートプログラム  
プログラムの記録

# 観光まちづくりプロデューサー養成プログラム

## 12月ショートプログラム

日程 2023年12月2日(土)～3日(日)(2日間)

会場 事業構想大学院大学福岡校+オンライン(ハイブリッド形式)

受講料 無料

応募締切 最終:2023年11月30日(木)

実施:

応募数:47名

参加数:リアル9名

オンライン27名

計36名



若林伸一氏による講義



若林宗男氏による講義



福岡市役所展望台にて



オープントップでフィールドワーク

観光まちづくりプロデューサー養成プログラム  
12月ショートプログラム  
受講生アンケート

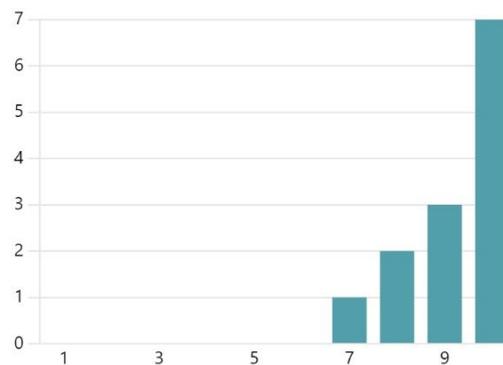
## 受講生アンケート（12月ショートプログラム）

### 3. 集中講義（若林伸一）（0点数）

[詳細](#)

[インサイト](#)

9.23  
平均評価

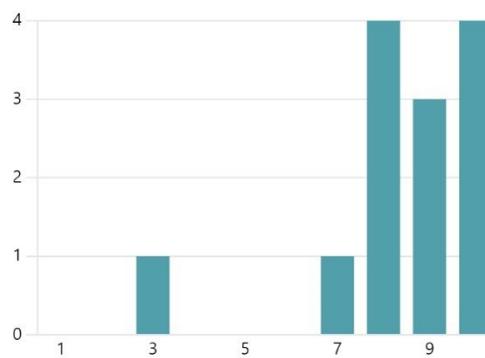


### 2. 集中講義（若林宗男）（0点数）

[詳細](#)

[インサイト](#)

8.38  
平均評価

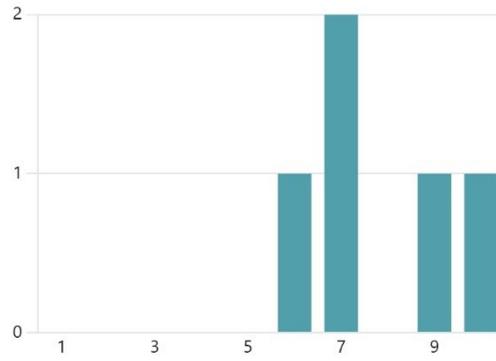


4. オープントップバスツアー（リアルの方のみ）（0 点数）

[詳細](#)

[インサイト](#)

7.80  
平均評価

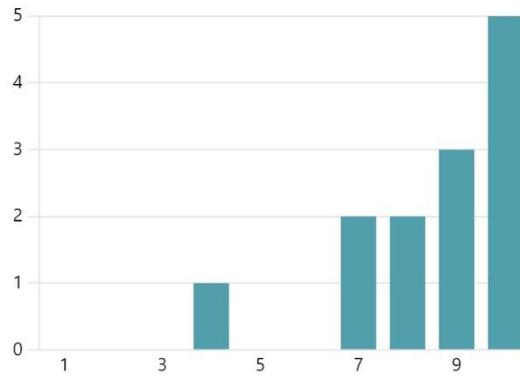


5. 本プログラム全体の満足度 (0 点数)

[詳細](#)

[インサイト](#)

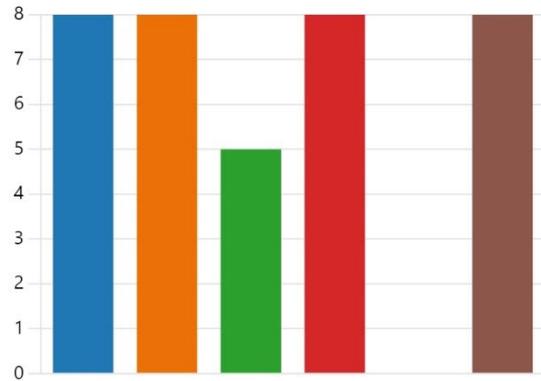
8.54  
平均評価



8. 本プログラムを今後どのように活用されたいと思いますか。(複数回答可) (0 点数)

詳細

- 現在の仕事に生かしていきたい 8
- 将来の仕事に生かしていきたい 8
- 現在関わっているボランティア活動や... 5
- 将来、ボランティア活動や副業、地... 8
- 特に生かせることはない 0
- さらに、リスキリング 勉強、研究を深... 8

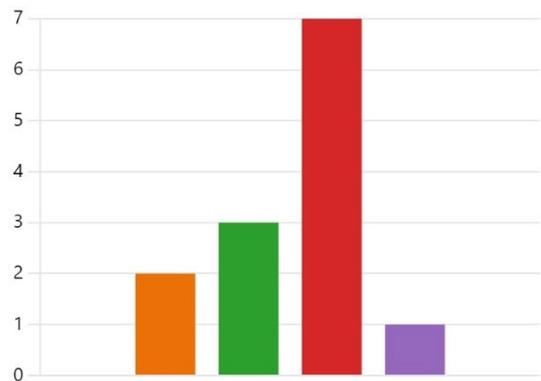


9. 大学院修士課程への関心 (0 点数)

詳細

🔍 インサイト

- 既に出願した 0
- 入学したい 2
- 入学に関心がある 3
- どちらともいえない 7
- それほど関心は高くない 1
- 入学しない 0



設問⑤

回答者	本プログラム全体の感想を自由に記入してください。
1	グループワークがないのが残念でした。事業構想の方々が言われていた魅力の1つを体験したかったです。あとはインプットできましてありがたかったです。
2	観光まちづくりに向けて、自分がまずどう動いていくべきか指針が見えました。2日間ありがとうございました。
3	先生方の熱意が伝わってきました。実践されていた内容がわかりやすく大変勉強になりました。

4	<p>グループワークを期待して参加したので、それが突然無くなったのは非常に残念でした。特にオンラインの受講生にとっては、他の方との交流は皆無なのでセミナーの魅力が半減です。また、「観光まちづくり」について学びを得られると思って受講しましたが、若林(宗)先生の方は雑談ベースで、主題とは異なる内容と感じましたし、その影響でグループワークが無くなったとしたら、本末転倒な気がしました。ビデオではありましたが、最初の井手先生のお話や、白石さんのお話など、より講義としての知識をもっと聞きたかったですし、その上で、事例紹介があり、グループワークで試して振り返れば、もっと学びが大きかったように思います。</p>
5	<p>拝聴しかできず、申し訳ございません。</p> <p>若林先生の局時代のお話や九州のHPにおけるPR手段(写真の活用)などが、まちづくりを考えるうえで、大変参考となりました。また、行政の協力を仰ぐ時に、どちらへ伺えばよいか具体的なお指導もいただき、将来の仕事の参考とさせていただきたく、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。</p>
6	<p>ここまで見せていただいているのかというくらい、ノウハウ含めた事例を沢山ご紹介いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>信一先生の儲からないと継続しないという当たり前のことを理解してもらった苦勞と、どのように解決してきたかというお話の中で、地域の方々としっかり話をし、その地域を愛し、その地域が自主的に成長できる仕組みを作っていく姿に大変刺激を受けました。</p> <p>宗男先生の監督とプロデューサーを見極める話は、自社の課題にもつながり心に刺さりました。とても大切な考え方を授けていただき、今から自社の改革をしていくのが楽しみです。</p> <p>事務局の白石さんには航空券の関係で、色々ご配慮いただきましたし、バスツアーは現地に来たからこそ、現地を感じる素晴らしい体験でした。</p> <p>加納さんには的確な無駄のない動きで、プログラム全般で大変お世話になりました。会場設営、進行、ゴミの片付け等、本当にありがとうございました。</p> <p>岡様もバスツアーと懇親会でご一緒させていただき、事業構想大学院大学の</p>

	<p>意義を認識することができました。楽しく話しかけていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>監督業は高いレベルで維持しながら、さまざまな課題を解決できるプロデューサーとして活動を拡げてまいります。</p> <p>素晴らしい機会をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。</p>
7	<p>2日間、大変お世話になりました。まさに人口減少過疎化の激しい地域を対象に活動を行っておりますが、活動を通じて「地元の幸福感」を高めるという点が課題でした。この課題への解決方法は、2日間の講義の中で、『稼げる街づくり』であるという焦点が明確になりました。相場で価格を設定すると差別化できない事、まず長方形の面積を決めて、値段と経費の掛け算などなど、事業経営においても大変わかりやすく教えて頂けたのでよかったです。地域への想いとストーリーを語る事の重要性、あきらめない地道な努力、先生方のご活動を通じて、手法や手順だけではない部分が重要な事を学びました。</p> <p>広島県庄原市には、世界一級の資源（炭酸カルシウム、天然橋など）日本初の国営乳牛研究牧場、G7 サミットで提供された幻の比婆牛、日本神話国生みの女神イザナミの眠る伝説地、日本ピラミッド、江戸時代のたたら製鉄ゆかりの棚田、絶滅危惧種ヒゴタイの自生地、水量が少ないので川下りというよりは岩下りのラフティングなどなど、地元の人々が知らないユニークなキーワードがたくさんあると思います。もちろん高齢化による農業の担い手不</p>

	<p>足、市の70%を占める森林、害獣、ジビエ、夏の草刈り、春の畔づくり、課題は山ほど。日本国中どこにでも見られる里山かもしれませんが、今回受講して光が見えて参りました。</p> <p>今回の受講で更に学びたい気持ちが強くなりました。経済的な部分が解決できれば、是非大学院で学びたいと考えています。</p>
8	<p>2日間の内容とは思えない程の、多くの情報量かつ、わかりやすい講義でした。特に、若林伸一先生の、発想の転換で地域の課題を、見事にプラスに変えていくアイデアの豊富さや、誰も損しない四方良しの視点、確かに地域を変えていく実績の数々には感動の連続でした。きっと相当な苦勞をしてこられたであろうノウハウを、出し惜しみなくご教授いただき、心より感謝申し上げます。自分自身も観光まちづくりに取り組んでいこう、という思いがとても強まりました。講師の皆様、運営の皆様、2日間ありがとうございました。</p>
9	<p>若林宗男先生の学問的な講義と若林伸一先生の実践に根付いた講義という両視点からの講義を聞くことが出来、良かった。</p> <p>参加者同士で話すグループワークの時間がなかったのは少し残念でした。</p> <p>参加者の方の中には、現在既に課題を抱えており、その解決手段を求めて講義を受けにこられている人もいるため、そのケースを取り上げてのグループワークや講師からの詳しい解説があってもよかったのかなと思いました。</p>
10	<p>2日間のプログラムなので時間がそもそも足りないですが、変に詰め込みにならず大事なポイントは踏まえて講義しついただいたと思います。具体事例もあげていただき、やれば出来そうな気持ちにさせてくださったので良かったです。</p>
11	<p>地域でのまちづくりのための活動についてしれてとても勉強になりました。</p>

12	<p>この度はプログラムに参加させていただき誠にありがとうございました。一言で言えば、本当に来てよかったです。</p> <p>まさに自分が取り組んでいきたいことに対して応用できる話で本当に学びになる有意義な時間でした。経験、体験、思索したうえで実績をださされていて、発送着想が広がりましたし、具体的な課題もみわかりました。宗男先生は休憩中にも自分の話を聞いてくださりそれを授業に取り入れていただき非常に感謝しています。また、伸一先生も質問に答えてくださり、何より生き様に感銘を受けました。そして圧倒的な実績と功績、それを生み出してきた活動と思考の積み重ねがどれほどのものか、自分も吸収していきたいと感じました。</p>
13	<p>どちらの若林先生の講義も大変参考になる事例や話題が多かったように感じました。</p> <p>ただ、講義の全体の流れを把握できていないと、「今は何の話をしようとしているのか・・・?」という疑問を抱く場面もあったように感じました。「事例」の紹介をしているのか、地域やまちづくりに介入する際に必要なことを「紹介」しているのか、この辺りがより明確に伝わってくると、聞いている参加者の方々も「より興味深く、より理解しやすく、より実践しやすく」なるようにも感じました。</p>

#### 設問⑥

回答者	本プログラムを今後どのように活用されたいと思いますか。(複数回答可)
1	現在の仕事に生かしていきたい;
2	現在の仕事に生かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;将来の仕事に生かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
3	将来の仕事に生かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
4	さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
5	将来の仕事に生かしていきたい;
6	現在の仕事に生かしていきたい;将来の仕事に生かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;さらに、リスクリン

	グ、勉強、研究を深めていきたい。;
7	現在の仕事に活かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
8	現在の仕事に活かしていきたい;将来の仕事に活かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;
9	現在の仕事に活かしていきたい;将来の仕事に活かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
10	さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;
11	将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;
12	現在の仕事に活かしていきたい;将来の仕事に活かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
13	現在の仕事に活かしていきたい;将来の仕事に活かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;

	ワークや講師からの詳しい解説があってもよかったのかなと思いました。
10	2日間のプログラムなので時間がそもそも足りないですが、変に詰め込みにならず大事なポイントは踏まえて講義しついただいたと思います。具体事例もあげていただき、やれば出来そうな気持ちにさせてくださったので良かったです。
11	地域でのまちづくりのための活動についてしれてとても勉強2になりました。
12	この度はプログラムに参加させていただき誠にありがとうございました。一言で言えば、本当に来てよかったです。 まさに自分が取り組んでいきたいことに対して応用できる話で本当に学びになる有意義な時間でした。経験、体験、思索したうえで実績をださされていて、発送着想が広がりましたし、具体的な課題もみわかりました。宗男先生は休憩中にも自分の話を聞いてくださりそれを授業に取り入れていただき非常に感謝しています。また、伸一先生も質問に答えてくださり、何より生き様に感銘を受けました。そして圧倒的な実績と功績、それを生み出してきた活動と思考の積み重ねがどれほどのものか、自分も吸収していきたいと感じました。
13	どちらの若林先生の講義も大変参考になる事例や話題が多かったように感じました。 ただ、講義の全体の流れを把握できていないと、「今は何の話をしようとしているのか・・・?」という疑問を抱く場面もあったように感じました。「事例」の紹介をしているのか、地域やまちづくりに介入する際に必要なことを「紹介」しているのか、この辺りがより明確に伝わってくると、聞いている参加者の方々も「より興味深く、より理解しやすく、より実践しやすく」なるようにも感じました。

#### 設問⑥

回答者	本プログラムを今後どのように活用されたいと思いますか。(複数回答可)
1	現在の仕事に生かしていきたい;
2	現在の仕事に生かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで生かしていきたい;将来の仕事に生かしていきたい;さらに、リスクリン

	グ、勉強、研究を深めていきたい。;
3	将来の仕事に活かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
4	さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
5	将来の仕事に活かしていきたい;
6	現在の仕事に活かしていきたい;将来の仕事に活かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
7	現在の仕事に活かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
8	現在の仕事に活かしていきたい;将来の仕事に活かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;
9	現在の仕事に活かしていきたい;将来の仕事に活かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
10	さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;
11	将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;
12	現在の仕事に活かしていきたい;将来の仕事に活かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;さらに、リスクリング、勉強、研究を深めていきたい。;
13	現在の仕事に活かしていきたい;将来の仕事に活かしていきたい;現在関わっているボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;将来、ボランティア活動や副業、地域活動などで活かしていきたい;

## 參考資料

## 事業責任大学名

事業構想大学院大学

## プログラム名称

観光まちづくりプロデューサー養成プログラム2023

## プログラム責任者

事業構想大学院大学 研究科長・教授 谷野豊

## プログラムの分野

分野：地域活性化（観光まちづくり）

## 事業構想大学院大学「観光まちづくりプロデューサー養成プログラム2023」

「観光まちづくりプロデューサー養成プログラム」は、持続可能な「稼げる観光まちづくり」を目指すプロデューサー人材を養成することを目的とする。今世紀以降、地域活性、地域創生に国をあげて取り組んでいるものの、十分に成果があがっていない大きな要因に「稼ぐ力」が十分でないことがあげられる。地域が持続的に発展するためには、しっかりと収益をあげ続けることが重要であるが、多様なステークホルダーが存在する地域においては、それらの利害関係者をつなぐプロデューサーの力量が極めて重要である。

事業構想大学院大学では、10年にわたって、社会人を対象に新規事業開発を自律的に構想、実現できる人材を育成してきた。一方、事業協働機関であるNPO法人自然体験学校は、数十年にわたって沖縄、北海道をはじめ全国各地で「稼げる観光まちづくり」を実践している。この両者がタッグを組んで持続可能な観光まちづくりのプロデューサー人材を養成するプログラムを開講する。

### 講座概要

開講期間：2023年9月～2024年1月（5か月）

開講日程：平日の夜間、土曜日を中心に実施

開講場所：福岡校およびオンライン、オンデマンド 合宿は沖縄で実施

開講時間数：100時間

受講料 198,000円（消費税込。テキスト代、合宿宿舍費、保険料を含む）

※校舎（福岡校）、合宿先（沖縄県）までの旅費、は別途各自負担

### 応用編

観光まちづくりとは  
 学校教育と教育旅行  
 観光まちづくりの事例研究  
 応用編実技（合宿）  
 観光まちづくりの基礎編（合宿）  
 現地調査・フィールドワーク



### 基礎編

事業構想原論  
 クリエイティブ発想法入門  
 事業構想のためのマーケティング  
 ビジネスモデル研究  
 アントレプレナーシップ  
 ブランド戦略  
 フィールドリサーチ（顧客開発）  
 イノベーションの発想  
 地域活性と事業構想



## 事業の概念図

「観光まちづくりプロデューサー養成プログラム」は、持続可能な「稼げる観光まちづくり」を目指すプロデューサー人材を養成することを目的とする。今世紀以降、地域活性、地方創生に国をあげて取り組んでいるものの、十分に成果があがっていない大きな要因に「稼ぐ力」が十分でないことがあげられる。地域が持続的に発展するためには、しっかりと収益をあげ続けることが重要であるが、多様なステークホルダーが存在する地域においては、それらの利害関係者をつなぐプロデューサーの力量が極めて重要である。

事業構想大学院大学では、10年にわたって、社会人を対象に新規事業開発を自律的に構想、実現できる人材を育成してきた。一方、事業協働機関であるNPO法人自然体験学校は、数十年にわたって沖縄、北海道をはじめ全国各地で「稼げる観光まちづくり」を実践してきている。

この両者がタッグを組んで持続可能な観光まちづくりのプロデューサー人材を養成するプログラムを開講する。

### 事業構想大学院大学

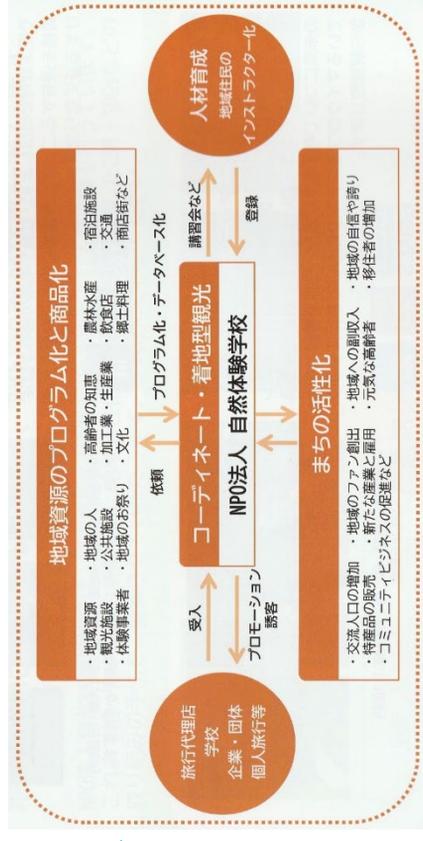
94

理想となる事業構想を描き、  
実現可能な構想計画に落とし込む



### NPO法人自然体験学校

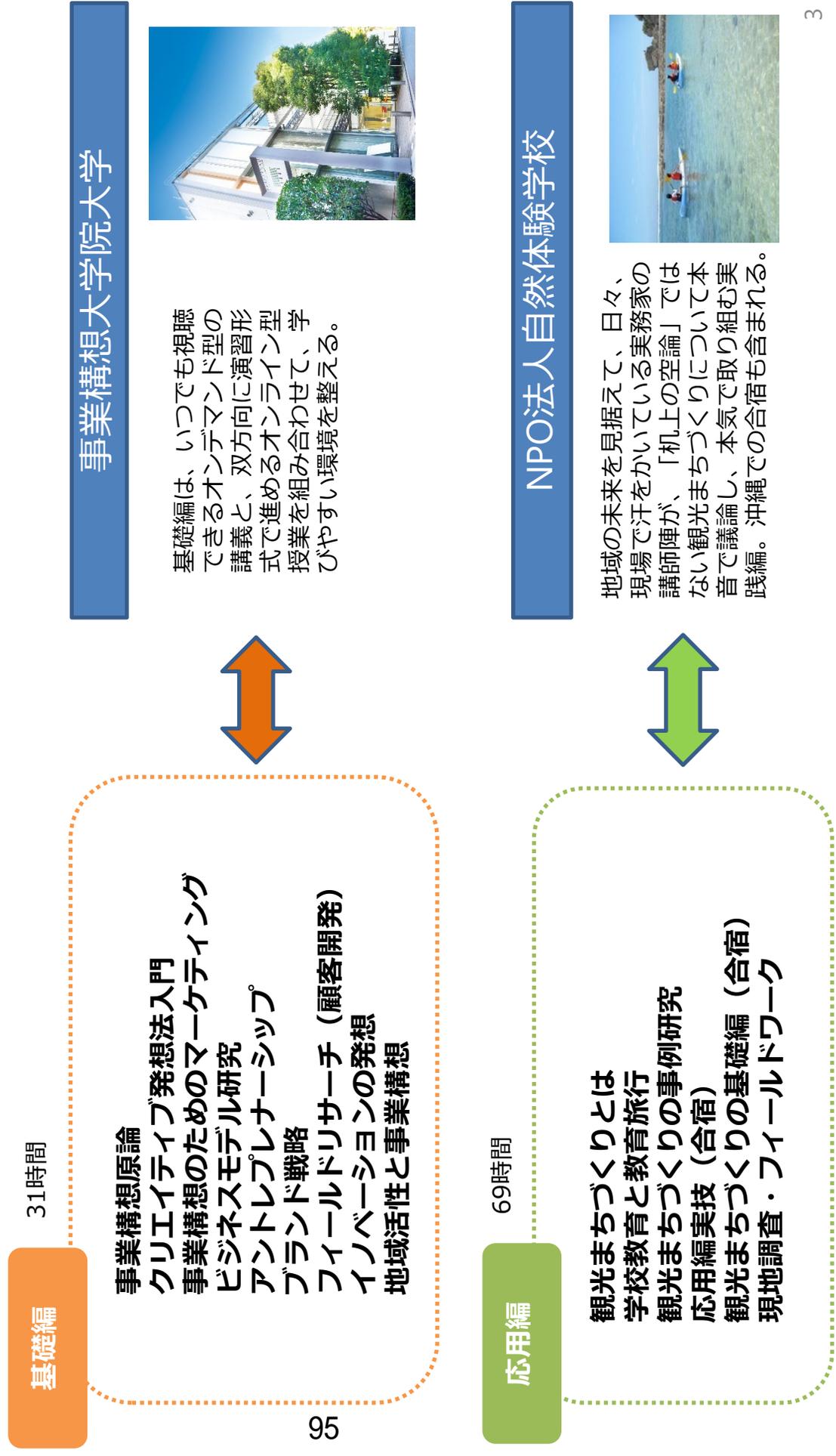
沖縄の体験型修学旅行10%以上のシェアをもつ  
実績と地域をまきこむ実践的ノウハウ



両者の知見を  
融合

持続可能な「稼げる観光まちづくり」を目指すプロデューサー人材を養成

プログラムは、事業構想のアイデア発想（発着創）から事業構想学の基礎を学ぶ「基礎編」と、現場経験を踏まえた実際の観光まちづくりを学ぶ「応用編」から構成され、理論と実践のバランスが取れたプログラム内容となっている。全100時間。



**基礎編**

31時間

- 事業構想原論
- クリエイティブ発想入門
- 事業構想のためのマーケティング
- ビジネスモデル研究
- アントレプレナーシップ
- ブランド戦略
- フィールドリサーチ（顧客開発）
- イノベーションの発想
- 地域活性と事業構想



**応用編**

69時間

- 観光まちづくりとは
- 学校教育と教育旅行
- 観光まちづくりの事例研究
- 応用編実技（合宿）
- 観光まちづくりの基礎編（合宿）
- 現地調査・フィールドワーク



**事業構想大学院大学**



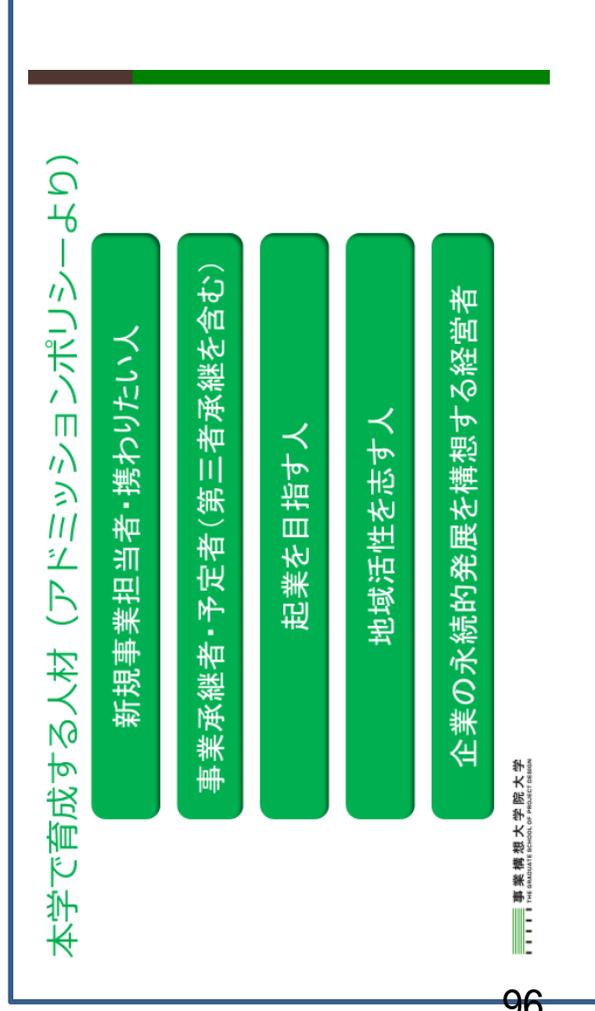
基礎編は、いつでも視聴できるオンデマンド型の講義と、双方向に演習形式で進めるオンライン型授業を組み合わせて、学びやすい環境を整える。

**NPO法人自然体験学校**



地域の未来を見据えて、日々、現場で汗をかいている実務家の講師陣が、「机上の空論」ではない観光まちづくりについて本音で議論し、本気で取り組む実践編。沖縄での合宿も含まれる。

## プログラムが想定している対象者



アドミッションポリシーで本学が対象とする「地域活性化を志す人」のなかでもとりわけ

1. 地域活性に強い関心のある方
2. Iターン、Uターン等で地方に移住、二拠点生活等を考えている方
3. 観光まちづくりで地方で「食べていける」プロフェッショナルを目指す方

を対象とする。

## 既存の同分野プログラムとの違い

### ▽過去の本学での実績

本学で過去2年度にわたって実施した同分野プログラムにおいては、多くの受講者の参加を得た。

### 令和2年度補正事業・就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業

#### 「社内新規事業開発ディレクター養成プログラム」

実施期間：2021年9月～2022年1月

実施時間：60時間

募集定員：30名

受講者数：54名

修了者数：54名

### 令和3年度補正事業・DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業

#### 「次世代みちのく地域イノベーター養成プログラムSHU・HA・RI」

実施期間：2022年10月～2023年1月

実施時間：60時間

募集定員：30名

受講者数：31名

上記プログラムは主に企業内での新規事業担当者を対象としており、本年度申請のプログラムとは対象や内容が異なる。また、「観光まちづくり」に特化した本格的なリカレント教育プログラムは、本学においては今回が初めてのものである。

## プログラムの目標設定

### ▼事業を通じて達成を目指す定量的な数値目標（アウトプットとアウトカム）

受講者数 15名

受講生の評価 プログラム実施後の肯定的評価9割以上

### ▼設定する目標の妥当性

有料講座としての実施を計画しているが、本分野に関心のある層はは全国に多数存在しており、目標数値を達成することは十分に可能と考えられている。

## 事業推進体制

### 学内体制の構築

#### ▼プログラムの普及推進策

本プログラムの連携先であり、再委託先であるNPO法人自然体験学校と協力・協働して、パッケージプログラム化し有料講座として継続的に開講することに加え、企業研修としても普及していきたい。

#### ▼プログラムの継続的な活動に向けた担当部署の設置をはじめとした学内整備の現状

本学の附属研究所である「事業構想研究所」において、従来より通年で社会人向けリカレント教育事業を行っており、研究生の受け入れとして、履修証明プログラムやBPを実施し、累計で1500名以上の修了者を輩出している。研究所は法人とも密接に連携し、研究所長（教授兼法人理事）、専任教員5名、専任職員10名で構成している。本プログラムは終了後は、研究所の常設事業として移管して継続的に実施したい。

#### 8 ▼学内で雇用される教員がリカレント教育に関与する場合のインセンティブ措置について

- ・教員評価上の優遇措置  
本プログラムに参加した教員への実績評価として、教科指導、学年指導、担当する校務、リカレント教育への参画等の評価項目について適正に審査し加点する。
- ・給与・賞与・手当等の措置
  - ・特任教員、客員教員、ゲスト講師については、担当する授業のコマ数から換算し給与を支給する。
  - ・本学の専任教員については、基本給の範囲内として本プログラムを実施する。但し大学との契約で決められているコマ数を上回る場合は、特任教員等と同様に担当する授業のコマ数から換算し給与を支給する。
  - ・特任教員、客員教員、ゲスト講師については、本プログラムで設置するリカレント教育推進委員会への参加報酬として委員会手当を支給する。
  - ・その他、交通費や宿泊費等を経費としての支出が必要な場合、支給する。

## 総授業時間数・期間

開講期間：2023年9月～2024年1月（5か月）

開講日程：平日の夜間、土曜日を中心に実施

開講場所：福岡校およびオンライン、オンデマンド 合宿は沖縄で実施

開講時間数：100時間

受講料 198,000円（消費税込。テキスト代、合宿宿舍費、保険料を含む）

※校舎（福岡校）、合宿先（沖縄県）までの旅費、は別途各自負担

## 想定する受講者数、受講者の募集方法

99

募集する受講者数：15名

※主に正規雇用者を想定。産休、育休中の方も含まれる。

※居住地域は問わない（全国対象）。

※オンライン環境を自ら準備できること、合宿に参加できることが参加条件。

※福岡校でのリアル参加も可能であるが必須ではない（オンラインでの受講可能）。

※若年層（20歳代～30歳代）の応募を期待するが、それ以外の年代も歓迎する。

※応募者には、書類に加えて、PR動画を提出してもらい、審査を行う。

※応募者多数の場合は、若干受入数を増やす可能性がある。

募集方法

Web広告、月刊事業構想等本学発行のメディアでの告知、大学院の説明会、大学院及び連携企業等のSNS投稿で告知



## プログラム案（実践編）

## 【内容】

講師：NPO法人自然体験学校各講師

1. 講義 (90分×2コマ×8日 24時間)
  - ①観光まちづくりとは (2コマ×1日 3時間)
    - ・ソーシャルビジネスと国内の課題
  - ②学校教育と教育旅行 (2コマ×1日 3時間)
    - ・一般旅行と教育旅行の違いと共通点
  - ③観光まちづくりの事例研究 (2コマ×6日 18時間)
    - ・300人の人口の観光まちづくり【新潟県粟島浦村の事例】 (2コマ)
    - ・少子高齢化、限界集落での観光まちづくり【神奈川県大井町相和地域の事例】 (2コマ)
    - ・長崎県西海市の課題の研究 (2コマ)
    - ・長崎県西海市の提案 (2コマ)
    - ・64万人の観光まちづくりと観光統計から読み解く沖縄観光 (2コマ)
    - ・沖縄県の課題と解決方法につながる事業構想 (2コマ)
2. 実技 (宿泊研修) 90分×2コマ×30コマ (45時間)
  - ・観光まちづくりの基礎編 (宿泊講習) 4日間×9時間 90分×24コマ
  - ・現地調査・フィールドワーク 1日間×9時間 90分×6コマ



## 社会人の受講しやすい工夫

- ① オンデマンド、オンラインを取り入れた授業形態
- ② 講義の録画でアーカイブ受講可能(欠席者フォロー)
- ③ 土日をはさんで集中的に現地合宿を実施
- ④ 各種ツールの提供  
受講期間中大学院のメールアドレスを付与。  
課題提出や、受講生相互での情報共有ツールとして、マイクロソフトのTeamsを利用可能
- ⑤ 自習室の利用  
大学内の空教室を自習、制作作業用に利用可能



## 取組の年間計画

令和5年度

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会の開催	○				○			○	
受講者募集	○	○		○	○				
プログラム 実施			○	○	○	○	○	○	
関係諸機関 との調整	○	○	○						
成果検証・ 報告書作成								○	○

102

事業協働機関であるNPO法人自然

体験学校とノウハウを共有し、必要なシステム開発等を行う。

事業期間終了後の継続的な取組計画



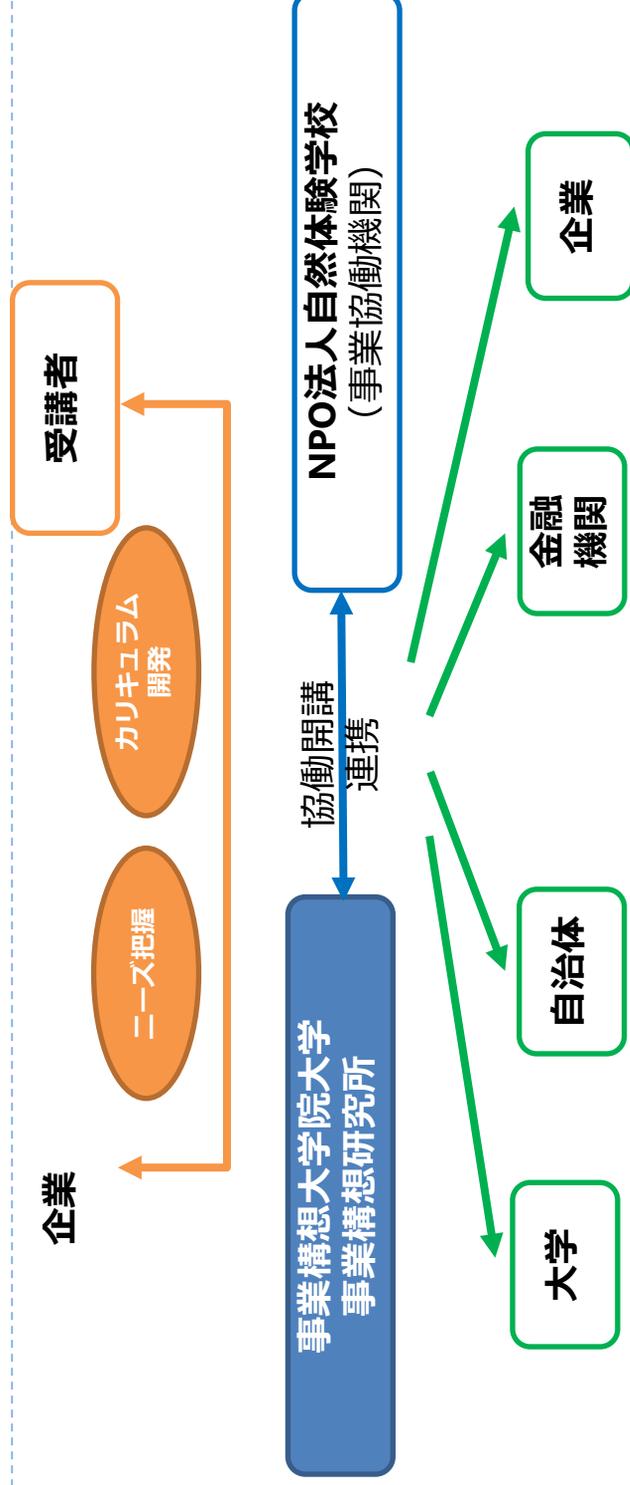
▼令和6年度

本学の附置研究所である「事業構想研究所」にプログラム実施主体を移管して、リカレント教育講座として、常設のプログラムとして展開する体制をとる。また宣伝会議との協力により有料講座を開講する。

また「社内クリエーター資格制度認証委員会」の組織を充実発展させ、資格制度の普及推進に当たる。

▼令和7～8年度

継続的にリカレント教育を行うために、NPO法人自然体験学校と協働・協力して有料講座を展開して財源確保につとめる。また最新のニーズや教育プログラム開発、講師開発を行い、ブラッシュアップをはかる。



## これまでのリカレント教育等の実績

### ▼リカレント教育の実績

令和2年度文部科学省・実務家教員COEプロジェクト「実務家教員養成課程」

(社会構想大学院大学、日本女子大学、武蔵野大学との協働事業)

東京、名古屋、大阪、福岡の4か所で開講。うち、名古屋、福岡は本学校舎で開講

令和2年度就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業

「社内クリエイター養成プログラム」

「社内新規事業開発ディレクター養成事業」

令和3年度補正事業「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業

「社内クリエイター養成プログラム (DX推進人材育成コース)」

「次世代みちのく地域イノベーター養成プログラム～SHU・HA・RI～」

### ▶自治体との連携事業

4 (連携協定の締結および一般公募の社会人を研究員とするプロジェクト研究の実施)

「『にいがた2km』に関する連携協定」

締結先：新潟県新潟市 (市長：中原八一)

ジヨルダン株式会社 (代表取締役社長：佐藤俊和)

締結日：2022年4月19日

「まちづくり包括連携に関する協定」

締結先：小諸市

株式会社カクイチ

締結日：2022年5月12日

「若者を選ばれるまちの実現に向けた包括連携に関する協定」

締結先：長野県茅野市 (市長：今井敦)

株式会社キッツ (本社：千葉市、代表取締役社長：河野誠)

締結日：2022年7月28日

他、南相馬市、山形市、山口市、等と実施



実績報告書と併せて4月10日までにご提出ください。

**令和4年度人材育成推進事業費補助金  
成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業  
基本情報(実績)**

1. 事業責任大学	事業構想大学院大学		
2. 申請プログラム	B(リテラシー)	職業訓練受講給金対象プログラムとしたか否か：	
プログラム名称	観光まちづくりプロデューサー養成プログラム		
<b>3. 基本情報(実績)</b>			
リカレント教育担当部署等の設置	既設	リカレント教育に関する教員へのインセンティブ措置規程の整備	整備予定
受講定員数	15名	受講料設定額	100,000円/人
受講者数	33名	部分受講者数	36名
総授業時間数(実時間数)	100時間	プログラム期間	3か月
プログラムレベル(ITSS、資格等)		オンライン授業の割合	4割程度
連携大学等数	2機関	プログラム活用企業等数	20機関

令和 6 年 4 月 10 日

文部科学大臣 殿

大学等の設置者 (名 称)	学校法人先端教育機構
(所在地)	東京都港区南青山3-13-16
(代表者氏名)	理事長 東 英弥
大学等名	事業構想大学院大学

令和4年度人材育成推進事業費補助金  
(成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業)  
実績報告書

整理番号	B-18		
申請プログラム	メニューB(リスキル)		
プログラム名称	観光まちづくりプロデューサー養成プログラム		
補助事業の実績等	別紙のとおり		
補助事業実績期間	令和5年6月19日～令和6年3月31日		
事業推進担当者	氏名	所属・職名	
事業推進代表者	井手隆司	福岡校統括教授	
事業推進責任者	白石史郎	事務局長(地域校統括)	
会計事務担当者名	所属・職名	連絡先(電話番号、E-mailアドレス)	
白石史郎	事務局長(地域校統括)	TEL	092-419-8411
		E-mail	<a href="mailto:fukuoka@mpd.ac.jp">fukuoka@mpd.ac.jp</a>

補助事業の実績	補助事業に係る具体的な成果
<p>総論(補助対象期間中に行った事業の内容の概要を記載してください。また、必ず、交付申請時の実施計画の総論と対応させるように記載してください。)</p> <p>「観光まちづくりプロデューサー養成プログラム」(サブタイトル:事業構想大学院大学観光まちづくり構想プログラムプレ講座)は、持続可能な「稼げる観光まちづくり」を目指すプロデューサー人材を養成することを目的とする。今世紀以降、地域活性、地方創生に国をあげて取り組んでいるものの、十分に成果があがっていない大きな要因に「稼ぐ力」が十分でないことがあげられる。地域が持続的に発展するためには、しっかりと収益をあげ続けることが重要であるが、多様なステークホルダーが存在する地域においては、それらの利害関係者をつなぐプロデューサーの力が極めて重要である。</p> <p>事業構想大学院大学では、10年にわたって、社会人を対象に新規事業開発を自律的に構想、実現できる人材を育成してきた。一方、事業協働機関であるNPO法人自然体験学校は、数十年にわたって沖縄、北海道をはじめ全国各地で「稼げる観光まちづくり」を実践してきている。この両者がタッグを組んで持続可能な観光まちづくりのプロデューサー人材を養成するプログラムを開講する。</p> <p>また、事業構想大学院大学では、2024年度より福岡校に「観光まちづくり構想プログラム」を設置し、全国から観光、まちづくりに関心がある方が集い、オンラインとリアル、フィールドワークを融合したプログラムを開講する予定である。</p> <p>本プログラムは、サブタイトルとして「事業構想大学院大学観光まちづくり構想プログラムプレ講座」と銘打っているが、それは2024年度に開設する「観光まちづくり構想プログラム」への接続を意図しているからである。観光まちづくりプロデューサーとして、本プログラムでその概論的な内容の習得、フィールドワークを通じた現場の実情を把握することはできるようにカリキュラムは組まれている。さらに実務でプロデューサーとして活躍を希望する方には、受け皿として本科生(2年制・修士課程/取得学位:事業構修士)への進学の道も用意し、本プログラムも含めた本分野のリカレント教育の持続性を担保していきたい。</p> <p>「観光まちづくりプロデューサー養成プログラム」(サブタイトル:事業構想大学院大学観光まちづくり構想プログラムプレ講座)は、持続可能な「稼げる観光まちづくり」を目指すプロデューサー人材を養成することを目的とする。今世紀以降、地域活性、地方創生に国をあげて取り組んでいるものの、十分に成果があがっていない大きな要因に「稼ぐ力」が十分でないことがあげられる。地域が持続的に発展するためには、しっかりと収益をあげ続けることが重要であるが、多様なステークホルダーが存在する地域においては、それらの利害関係者をつなぐプロデューサーの力が極めて重要である。</p> <p>事業構想大学院大学では、10年にわたって、社会人を対象に新規事業開発を自律的に構想、実現できる人材を育成してきた。一方、事業協働機関であるNPO法人自然体験学校は、数十年にわたって沖縄、北海道をはじめ全国各地で「稼げる観光まちづくり」を実践してきている。この両者がタッグを組んで持続可能な観光まちづくりのプロデューサー人材を養成するプログラムを開講した。</p> <p>また、事業構想大学院大学では、2024年度より福岡校に「観光まちづくり構想プログラム」を設置し、全国から観光、まちづくりに関心がある方が集い、オンラインとリアル、フィールドワークを融合したプログラムを開講することを決定している。</p> <p>本プログラムは、サブタイトルとして「事業構想大学院大学観光まちづくり構想プログラムプレ講座」と銘打っているが、それは2024年度に開設する「観光まちづくり構想プログラム」への接続を意図しているからである。観光まちづくりプロデューサーとして、本プログラムでその概論的な内容の習得、フィールドワークを通じた現場の実情を把握することはできるようにカリキュラムは組まれている。さらに実務でプロデューサーとして活躍を希望する方には、受け皿として本科生(2年制・修士課程/取得学位:事業構修士)への進学の道も用意し、本プログラムも含めた本分野のリカレント教育の持続性を担保していきたい。</p>	<p>(リカレント教育推進の観点での成果の概要と、補助期間終了後の継続実施に向けた取組の達成状況を記載して下さい。また、必ず、左記の補助事業の内容と対応させるように記載して下さい。)</p> <p>①本プログラムは募集時から大きな反響があり、説明会に300名が申込があった。                  ②受講生は、書類選考を経て、定員の15名を上回る33名が受講した。                  ③多くの受講生が毎回、熱心に参加し、持続的な観光まちづくりについて真剣に取り組んだ。                  ④その結果、28名が修士し、最終日に修士証書を授与した。                  ⑤3か月間の比較的長期にわたり、またフィールドワークや合宿があったため、参加しなくても参加できないという方からも、何らかの形で受講したいとの強い要望があった。                  ⑥それらの声にこたえる形で12月に別途ショートプログラム(2日間)を実施した。                  ⑦本プログラムは、本学の修士課程への接続を前提としたものであったが、本プログラムを通じて合計7名の方が2024年4月に修士課程に入学している。                  ⑧修士課程の正式な科目として「観光まちづくり」(2単位科目×2科目)が新設され、樹高終了者の期待に沿う形で、リカレント教育を継続することとなっている。</p>
<p>(補助対象期間中に行った事業の内容を具体的に記載してください。また、必ず、交付申請時の実施計画と対応させるよう、箇条書きで記載してください。)</p>	<p>(リカレント教育推進の観点での成果の概要と、補助期間終了後の継続実施に向けた取組の達成状況を記載して下さい。また、必ず、左記の補助事業の内容と対応させるように記載して下さい。)</p>
<p>① 本プログラムは全国の社会人を対象にオンラインで実施するため、オンライン機器の準備が必要不可欠である。本プログラムは、社会人が受講しやすくなるため、平日の夜間に設定している。この時間帯は、同時時間帯で、本科生の授業を実施しているため、既存の設備備品は使用できない。来年度以降も継続的にプログラムを実施する予定であるため、レンタルよりも購入の方が経済合理性が高いと判断した。なお、オンライン機器の具体的な使用日程は、9月23日(第1回)、10月2日(第3回)、10月16日(第6回)、10月23日(第7回)、10月30日(第8回)、11月6日(第9回)、11月13日(第10回)、11月20日(第11回)を予定している。</p> <p>本プログラムは全国の社会人を対象にオンラインで実施するため、オンライン機器の準備が必要不可欠である。本プログラムは、社会人が受講しやすくなるため、平日の夜間に設定している。この時間帯は、同時時間帯で、本科生の授業を実施しているため、既存の設備備品は使用できない。来年度以降も継続的にプログラムを実施する予定であるため、レンタルよりも購入の方が経済合理性が高いと判断した。なお、オンライン機器の具体的な使用日程は、9月23日(第1回)、10月2日(第3回)、10月16日(第6回)、10月23日(第7回)、10月30日(第8回)、11月6日(第9回)、11月13日(第10回)、11月20日(第11回)を予定し、予定通り有意義に活用した。</p>	<p>オンライン機器を本プログラムで計画通りに有効に活用することができた。また、補助事業終了後も、修士課程への接続プログラムにおいて有効に活用する計画である。</p>
<p>② フィールドワーク先は集団で移動するには交通不便な場所であるため、貸切バスで移動する。                  9/24(日)フィールドワーク(福岡県八女市・福岡校よりバス)                  10/8(日)～9(祝)フィールドワーク(長崎県西海市/1泊2日)</p>	<p>貸切バスにより安全かつ効率的に移動し、プログラムの充実をかけた</p>

<p>フィールドワーク先は集団で移動するには交通不便な場所であるため、貸切バスで移動した。 9/24(日)フィールドワーク(福岡県八女市・福岡校よりバス) 10/8(日)～9(祝)フィールドワーク(長崎県西海市/泊2日)</p>	<p>長崎県西海市のフィールドワークは、交通不便な場所であるため、貸切バスで移動した。</p>
<p>③ 沖縄合宿では、体験学習指導者養成のプログラムを実施し、観光まちづくりの有望分野のひとつである体験観光分野を学修する。 11/23(木・祝)～11/26(日)体験指導者講習合宿(沖縄)</p> <p>沖縄合宿では、体験学習指導者養成のプログラムを実施し、観光まちづくりの有望分野のひとつである体験観光分野を学修した。 11/23(木・祝)～11/26(日)体験指導者講習合宿(沖縄)</p>	<p>沖縄合宿では、体験学習指導者養成のプログラムを実施し、観光まちづくりの有望分野のひとつである体験観光分野を学修することができた。受講者も集中的にグループワーク、アイデア発想、観光コンテンツづくり等を通じて、本プログラムの目指す「持続可能な稼げる観光まちづくり」を学ぶことができた。</p>
<p>④ 講師は本学教員に加え、観光まちづくり分野の一線で活躍する研究者、実務家が担当する。 9/23(土)開講式、講義(事業構想大学院大学 福岡校) 10/2(月)～11/20(月)講義(オンライン/毎週月曜/計7回/18:30～21:40)</p> <p>講師は本学教員に加え、観光まちづくり分野の一線で活躍する研究者、実務家が担当した。 9/23(土)開講式、講義(事業構想大学院大学 福岡校) 10/2(月)～11/20(月)講義(オンライン/毎週月曜/計7回/18:30～21:40)</p>	<p>講師は本学教員に加え、観光まちづくり分野の一線で活躍する研究者、実務家が担当することにより、充実したプログラムを実施することができた。</p>
<p>⑤ 事業協働機関であるNPO法人自然体験学校にプログラム開発、講義実施の一部を委託する。 プログラム開発は9月23日～11月26日の全15回分、講座実施については、9月23日(第1回)、10月16日(第6回)、10月30日(第8回)、11月6日(第9回)、11月13日(第10回)、11月20日(第11回)の講義、および、9月24日(第2回/八女市フォールドワーク)、10月8日、9日(第4回、5回/西海市フィールドワーク)、11月23日～26日(第12～15回/沖縄合宿)を委託する。</p> <p>事業協働機関であるNPO法人自然体験学校にプログラム開発、講義実施の一部を委託した。プログラム開発は9月23日～11月26日の全15回分、講座実施については、9月23日(第1回)、10月16日(第6回)、10月30日(第8回)、11月6日(第9回)、11月13日(第10回)、11月20日(第11回)の講義、および、9月24日(第2回/八女市フォールドワーク)、10月8日、9日(第4回、5回/西海市フィールドワーク)、11月23日～26日(第12～15回/沖縄合宿)を委託した。</p>	<p>事業協働機関であるNPO法人自然体験学校にプログラム開発、講義実施の一部を委託した。長年にわたる豊富な実務的知見を蓄積している同法人より、実践的なプログラム内容、コンテンツを提供してもらい、本プログラムが、社会人のリカレント教育として実践的な質を伴った教育プログラムにすることに大きく貢献した。</p>
<p>⑥ 本学の包括連携協定先である信州大学および北海道で同分野の知見の高い小樽商科大学の協力を仰ぐ。信州大学は、産学官連携本部、ユニバーシティ・エンゲージメント室副室長の藤尾先生に10月23日(第7回)の講義を担当いただき、小樽商科大学は、大学院ビジネススクールの内田純一教授に9月23日(第1回)の授業を担当いただく。</p> <p>本学の包括連携協定先である信州大学および北海道で同分野の知見の高い小樽商科大学の協力を仰ぐ。信州大学は、産学官連携本部、ユニバーシティ・エンゲージメント室副室長の藤尾先生に10月23日(第7回)の講義を担当いただき、小樽商科大学は、大学院ビジネススクールの内田純一教授に9月23日(第1回)の授業を担当いただいた。</p>	<p>本学の包括連携協定先である信州大学および北海道で同分野の知見の高い小樽商科大学の協力を仰ぎ、アカデミックな側面からの学修に貢献した。</p>
<p>⑦ リカレント教育推進委員(アドバイザーボード)として本学修了生で観光まちづくりに知見を持つ実務家の参加を得る。委員会は第1回を8月1日(火)10:00-11:30、第2回を9月19日(火)10:00～11:00、第3回を12月5日(火)10:00～11:00の3回実施する。委員会は16名で構成し、そのうち6名は修了生である。委員には講義やフィールドワークにも可能な範囲で参加いただき、適宜アドバイスの機会や交流機会を創出する。</p> <p>リカレント教育推進委員(アドバイザーボード)として本学修了生で観光まちづくりに知見を持つ実務家の参加を得る。委員会は第1回を8月1日(火)10:00-11:30、第2回を9月19日(火)10:00～11:00、第3回を12月5日(火)10:00～11:00の3回実施する。委員会は16名で構成し、そのうち6名は修了生である。委員には講義やフィールドワークにも可能な範囲で参加いただき、適宜アドバイスの機会や交流機会を創出した。</p>	<p>予定通りに委員会を開催して、有意義なアドバイスを得ることができた。またアドバイザーボードに任命された本学修了生は積極的に受講生と交流し、またアドバイスを行った。</p>
<p>⑧ 本事業を円滑に実施するために、専任教員1名(福岡校統括教授の20%)、専任職員1名(統轄責任者1名)を配置し、学内の関係部局および産学官の関係諸機関と緊密な連携をとりつつ、プログラムを運営する。□</p> <p>本事業を円滑に実施するために、専任教員1名(福岡校統括教授の20%)、専任職員1名(統轄責任者1名)を配置し、学内の関係部局および産学官の関係諸機関と緊密な連携をとりつつ、プログラムを運営した。□</p>	<p>本事業を円滑に実施するために、専任教員1名(福岡校統括教授の20%)、専任職員1名(統轄責任者1名)を配置し、学内の関係部局および産学官の関係諸機関と緊密な連携をとりつつ、プログラムを運営した。特に問題もなく運営できた。これらの運営を通じて得られたノウハウは、今後の本学でのリカレント教育推進に資する貴重な経験となった。</p>

<p><b>受講生募集活動</b></p> <p>本プログラムは有料講座として実施するため、事前に十分な受講生募集活動を行うことが重要であると認識している。 そのため、特設ホームページの制作、WEB広告での周知、大学SNSでの周知、大学出版部が発刊する「月刊事業構想」等での周知、ハローワーク、コワーキングスペース等での案内パンフ配布、関係教職員からのロコミなどにより、受講生確保に努める。また、下記については外注する。</p> <p>⑨ <b>募集広報費・ホームページ制作費</b> (目的) 本プログラムの周知、広報を行い、受講生を確実に集めるため。 (業務内容) ①特設ホームページの制作 ②WEB広告による周知</p> <p>(契約形態) 請負契約により実施するもの。</p> <p>受講生募集活動は2023年8月より9月20日頃まで実施する。</p> <p>受講生募集活動</p> <p>本プログラムは有料講座として実施するため、事前に十分な受講生募集活動を行うことが重要であると認識している。 そのため、特設ホームページの制作、WEB広告での周知、大学SNSでの周知、大学出版部が発刊する「月刊事業構想」等での周知、ハローワーク、コワーキングスペース等での案内パンフ配布、関係教職員からのロコミなどにより、受講生確保に努めた。また、下記については外注した。</p> <p>募集広報費・ホームページ制作費 (目的) 本プログラムの周知、広報を行い、受講生を確実に集めるため。 (業務内容) ①特設ホームページの制作 ②WEB広告による周知</p> <p>(契約形態) 請負契約により実施するもの。</p> <p>受講生募集活動は2023年8月より9月20日頃まで実施した。</p>	<p>定員の2倍以上の受講生が受講することとなり、募集活動は正課が十分に上がったと考えている。</p>
---	---

(注) 交付申請書の「補助事業の目的・必要性」、「本年度の補助事業実施計画」と対応させて分かり易く記入すること。

事業構想大学院大学福岡校リカレント教育事業推進委員会  
「観光まちづくり構想プロデューサー養成プログラム」アドバイザリーボード  
第1回委員会

日時：2023年8月1日（火）10:00～11:30（福岡校+オンライン）

場所：事業構想大学院大学福岡校およびオンライン

次 第

1. 挨拶（井手隆司教授）
2. 挨拶（若林宗男特任教授）
3. 出席委員自己紹介（各1分程度）
4. 「観光まちづくり構想プロデューサー養成プログラム」実施案の説明
5. プログラム内容について（意見交換）
6. 受講生の募集について
7. 修士課程への接続について
8. 今後のスケジュール
9. 委員のプログラムへの参加について

オンライン参加の場合の接続先

Zoom ミーティング

<https://sentankyo-ac-jp.zoom.us/j/84385492270?pwd=MWFnbGlzUkVRZ1VxN1JYeDIcUxJQT09>

ミーティング ID: 843 8549 2270

パスコード: 938103

次回日程（案）

第2回 9月19日（火）10:00～11:00

第3回 12月5日（火）10:00～11:00

事業構想大学院大学福岡校リカレント教育事業推進委員会  
「観光まちづくり構想プロデューサー養成プログラム」アドバイザリーボード  
第2回委員会

日時：2023年9月19日（火）10:00～11:00（福岡校+オンライン）

場所：事業構想大学院大学福岡校およびオンライン

次 第

1. 挨拶（井手隆司教授）
2. 挨拶（若林宗男特任教授）
3. 「観光まちづくり構想プロデューサー養成プログラム」実施について
  - ・受講生の決定について
  - ・プログラムの準備状況
  - ・委員のプログラムへの参加について
4. プログラム内容・運営について（意見交換）
5. 修士課程への接続について
6. 今後のスケジュール

オンライン参加の場合の接続先

Zoom ミーティング

<https://sentankyo-ac-jp.zoom.us/j/84385492270?pwd=MWFnbGlzUkVRZ1VxN1JYeDlCcUxjQT09>

ミーティング ID: 843 8549 2270

パスコード: 938103

次回日程（案）

第3回 12月5日（火）10:00～11:00

事業構想大学院大学福岡校リカレント教育事業推進委員会  
「観光まちづくり構想プロデューサー養成プログラム」アドバイザーボード  
第3回委員会

日時：2023年12月5日（火）10:00～11:00（福岡校+オンライン）

場所：事業構想大学院大学福岡校およびオンライン

次 第

1. 挨拶
2. 「観光まちづくり構想プロデューサー養成プログラム」実施結果について
3. ショートプログラム実施結果について（12月2日～3日）
4. プログラム内容・運営について振り返り（意見交換）
5. 修士課程への接続について
6. 今後に向けて

オンライン参加の場合の接続先

Zoom ミーティング

<https://sentankyo-ac-jp.zoom.us/j/84385492270?pwd=MWFnbGlzUkVRZ1VxN1JYeDICcUxJQT09>

ミーティング ID: 843 8549 2270

パスコード: 938103

事業構想大学院大学福岡校リカレント教育事業推進委員会 委員名簿  
「観光まちづくり構想プロデューサー養成プログラム」アドバイザリーボード

	氏名	所属等	出欠
1	井手隆司	事業構想大学院大学教授／福岡校統轄	
2	若林宗男	事業構想大学院大学特任教授／本プログラム統轄	
3	若林伸一	NPO 法人自然体験学校 理事長	
4	内田純一	小樽商科大学大学院商学研究科教授	
5	藤尾宗太郎	信州大学ユニバーシティ・エンゲージメント室副室長	
6	長尾和弘	十八親和銀行地域振興部長	
7	高良剛寿	株式会社茶花の里 代表取締役社長	
8	吉野秋彦	株式会社タケマン代表取締役会長	
9	引地渉	かごしま子ども食堂・地域食堂ネットワーク／南日本新聞社	
10	安田憲保	安泰企画・安泰商事代表取締役社長	
11	倉橋篤	熊本郷土料理「青柳」代表取締役社長	
12	伊藤雄大	株式会社 JTB 佐賀支店グループリーダー	
13	乳井亜矢子	NPO 法人自然体験学校 理事	
14	小野芽唯	株式会社西日本新聞メディアラボ	
15	加納大	事業構想大学院大学 事務局／中小機構	
16	白石史郎	事業構想大学院大学 事務局	

(順不同／敬称略)

文部科学省 令和4年度 成長分野における即戦力人材輩出に向けた  
リカレント教育推進事業  
「観光まちづくりプロデューサー養成プログラム」実施報告書

発行日 2023年3月31日

発行者 学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 福岡校  
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル4階  
TEL : 092-419-8411 (代表)

